

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: Takashi OSHIBA et al.
Title: ADVERTISEMENT OPPORTUNITY
TRADING SYSTEM,
ADVERTISEMENT OPPORTUNITY
TRADING METHOD, AND
RECORDING MEDIUM

Appl. No.: 10/025770
Filing Date: 12/26/2001
Examiner: Unassigned
Unit: 2162

#2
5-30-02
CW-
RECEIVED
MAR 27 2002
Technology Center 2100

CLAIM FOR CONVENTION PRIORITY

Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

The benefit of the filing date of the following prior foreign application filed in the following foreign country is hereby requested, and the right of priority provided in 35 U.S.C. § 119 is hereby claimed.

In support of this claim, filed herewith is a certified copy of said original foreign application:

- JAPAN Patent Application No. 2000-396571 filed 12/27/2000.

Respectfully submitted,

Date March 26, 2002
FOLEY & LARDNER
Customer Number: 22428



22428

PATENT TRADEMARK OFFICE

Telephone: (202) 672-5407
Facsimile: (202) 672-5399

By Aaron C. Chatterjee
David A. Blumenthal Reg. # 41,398
Attorney for Applicant
Registration No. 26,257

RECEIVED
MAY 23 2002
GROUP 3600

US

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年12月27日

出 願 番 号

Application Number:

特願2000-396571

出 願 人

Applicant(s):

日本電気株式会社



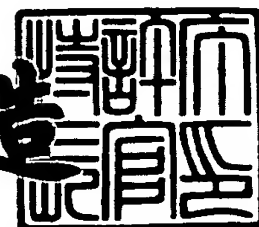
RECEIVED
MAR 27 2002
Technology Center 2100

RECEIVED
MAY 23 2002
GROUP 3600

2001年 8月31日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Japan Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3077842

【書類名】 特許願

【整理番号】 35001050

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00
G06F 17/60

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

【氏名】 大芝 崇

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

【氏名】 中島 一彰

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

【氏名】 田淵 仁浩

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

【氏名】 神場 知成

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100093595

【弁理士】

【氏名又は名称】 松本 正夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 057794

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9303563

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 広告枠取引システムとその広告枠取引仲介方法、及び広告枠取引プログラムを記録した記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引システムにおいて、

前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認部を備え、

前記広告素材承認部は、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とする広告枠取引システム。

【請求項2】 各前記スポンサーが前記広告素材を登録する広告素材登録部と、

各前記メディアが提供する広告枠の登録を受け付ける広告枠処理部と、

各前記スポンサーによる、前記登録された広告枠に対する前記広告素材の配信の要求を受け付けて、管理する取引情報処理部を備え、

前記広告素材登録部は、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記広告素材を登録することを特徴とする請求項1に記載の広告枠取引システム。

【請求項3】 前記取引情報処理部は、

前記広告素材の配信の承認が当該メディアにより既にされている場合に限り、前記広告素材の配信の要求を受け付けることを特徴とする請求項2に記載の広告枠取引システム。

【請求項4】 前記広告素材登録部は、

1つの前記スポンサーの1つの前記広告枠に対する、1つ又は複数の前記広告素材を登録し、

前記取引情報処理部は、

1つの前記広告枠に対して1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認された場合において、前記承認されている広告素材の内から前記スポンサーが実際に配信するものとして指定した前記広告素材を、配信することを特徴とする請求項2又は請求項3に記載の広告枠取引システム。

【請求項5】 1つの前記広告枠に1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認されている場合には、前記広告素材の内の1つを実際に配信するものとして登録して、他の前記広告素材を予備とし、

前記取引情報処理部は、

前記スポンサーによる指示に応じて、前記実際に配信する広告素材と前記予備の広告素材との差し替えを行なうことを特徴とする請求項4に記載の広告枠取引システム。

【請求項6】 前記広告枠処理部は、登録する前記広告枠のそれぞれに対して、当該広告枠において配信しない広告のジャンルを指定する禁止ジャンルの情報を登録し、

前記広告素材登録部は、登録する前記広告素材のそれぞれのジャンルを示すジャンル情報を登録し、

前記広告枠に対する各前記スポンサーが配信を要求する前記広告素材のそれぞれのジャンルが、当該広告枠の前記禁止ジャンルに該当するか否かをチェックし、当該メディアに対しチェック結果を通知する広告素材チェック部を備えることを特徴とする請求項2から請求項5のいずれか一つに記載の広告枠取引システム。

【請求項7】 前記取引情報処理部は、前記広告枠に対する前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーのそれぞれの、業種を示す業種カテゴリ情報を登録し、

1つの前記広告枠に対して前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーの、それぞれの業種が競合するか否かをチェックする競合チェック部を備え、

各前記スポンサー間に業種の競合がある場合には、前記スポンサーの内で各業

種に1つのみに限り当該広告枠における配信を許可することを特徴とする請求項1から請求項6のいずれか一つに記載の広告枠取引システム。

【請求項8】 前記メディアにより承認された前記広告素材を、前記広告の配信を実行する広告送出管理部に対して送信し格納する広告素材ミラーリング部を備え、

前記広告素材ミラーリング部は、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記承認された広告素材を前記広告送出管理部に格納し、

前記広告枠の取引が成立し約定された場合には、前記広告送出管理部に対して、前記広告送出管理部に格納されている約定された前記広告素材の、予め設定されている配信時点からの配信を指示することを特徴とする請求項1から請求項7のいずれか一つに記載の広告枠取引システム。

【請求項9】 通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介するサーバ装置である市場管理サーバにおいて、

前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認部を備え、

前記広告素材承認部は、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とする市場管理サーバ。

【請求項10】 各前記スポンサーが前記広告素材を登録する広告素材登録部と、

各前記メディアが提供する広告枠の登録を受け付ける広告枠処理部と、

各前記スポンサーによる、前記登録された広告枠に対する前記広告素材の配信の要求を受け付けて、管理する取引情報処理部を備え、

前記広告素材登録部は、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記広告素材を登録することを特徴

とする請求項 9 に記載の市場管理サーバ。

【請求項 11】 前記取引情報処理部は、

前記広告素材の配信の承認が当該メディアにより既にされている場合に限り、
前記広告素材の配信の要求を受け付けることを特徴とする請求項 10 に記載の市場管理サーバ。

【請求項 12】 前記広告素材登録部は、

1 つの前記スポンサーの 1 つの前記広告枠に対する、1 つ又は複数の前記広告素材を登録し、

前記取引情報処理部は、

1 つの前記広告枠に対して 1 つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、
当該広告枠を提供する前記メディアにより承認された場合において、前記承認されている広告素材の内から前記スポンサーが実際に配信するものとして指定した前記広告素材を、配信することを特徴とする請求項 10 又は請求項 11 に記載の市場管理サーバ。

【請求項 13】 1 つの前記広告枠に 1 つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、
当該広告枠を提供する前記メディアにより承認されている場合には、前記広告素材の内の 1 つを実際に配信するものとして登録して、他の前記広告素材を予備とし、

前記取引情報処理部は、

前記スポンサーによる指示に応じて、前記実際に配信する広告素材と前記予備の広告素材との差し替えを行なうことを特徴とする請求項 12 に記載の市場管理サーバ。

【請求項 14】 前記広告枠処理部は、登録する前記広告枠のそれぞれに対して、
当該広告枠において配信しない広告のジャンルを指定する禁止ジャンルの情報を登録し、

前記広告素材登録部は、登録する前記広告素材のそれぞれのジャンルを示すジャンル情報を登録し、

前記広告枠に対する各前記スポンサーが配信を要求する前記広告素材のそれぞれのジャンルが、
当該広告枠の前記禁止ジャンルに該当するか否かをチェックし

、当該メディアに対しチェック結果を通知する広告素材チェック部を備えることを特徴とする請求項10から請求項13のいずれか一つに記載の市場管理サーバ。

【請求項15】 前記取引情報処理部は、前記広告枠に対する前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーのそれぞれの、業種を示す業種カテゴリ情報を登録し、

1つの前記広告枠に対して前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーの、それぞれの業種が競合するか否かをチェックする競合チェック部を備え、

各前記スポンサー間に業種の競合がある場合には、前記スポンサーの内で各業種に1つのみに限り当該広告枠における配信を許可することを特徴とする請求項9から請求項14のいずれか一つに記載の市場管理サーバ。

【請求項16】 前記メディアにより承認された前記広告素材を、前記広告の配信を実行する広告送出管理部に対して送信し格納する広告素材ミラーリング部を備え、

前記広告素材ミラーリング部は、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記承認された広告素材を前記広告送出管理部に格納し、

前記広告枠の取引が成立し約定された場合には、前記広告送出管理部に対して、前記広告送出管理部に格納されている約定された前記広告素材の、予め設定されている配信時点からの配信を指示することを特徴とする請求項9から請求項15のいずれか一つに記載の市場管理サーバ。

【請求項17】 通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引仲介方法において、

前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認ステップを備え、

前記広告素材承認ステップでは、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告

素材の承認を行なうことを特徴とする広告枠取引仲介方法。

【請求項 18】 各前記スポンサーが前記広告素材を登録する広告素材登録ステップと、

各前記メディアが提供する広告枠の登録を受け付ける広告枠処理ステップと、

各前記スポンサーによる、前記登録された広告枠に対する前記広告素材の配信の要求を受け付けて、管理する取引情報処理ステップを備え、

前記広告素材登録ステップでは、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記広告素材を登録することを特徴とする請求項 17 に記載の広告枠取引仲介方法。

【請求項 19】 前記取引情報処理ステップでは、

前記広告素材の配信の承認が当該メディアにより既にされている場合に限り、前記広告素材の配信の要求を受け付けることを特徴とする請求項 18 に記載の広告枠取引仲介方法。

【請求項 20】 前記広告素材登録ステップでは、

1 つの前記スポンサーの 1 つの前記広告枠に対する、1 つ又は複数の前記広告素材を登録し、

前記取引情報処理ステップでは、

1 つの前記広告枠に対して 1 つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認された場合において、前記承認されている広告素材の内から前記スポンサーが実際に配信するものとして指定した前記広告素材を、配信することを特徴とする請求項 18 又は請求項 19 に記載の広告枠取引仲介方法。

【請求項 21】 1 つの前記広告枠に 1 つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認されている場合には、前記広告素材の内の 1 つを実際に配信するものとして登録して、他の前記広告素材を予備とし、

前記取引情報処理ステップでは、

前記スポンサーによる指示に応じて、前記実際に配信する広告素材と前記予備の広告素材との差し替えを行なうことを特徴とする請求項 20 に記載の広告枠取

引仲介方法。

【請求項22】 前記広告枠処理ステップでは、登録する前記広告枠のそれぞれに対して、当該広告枠において配信しない広告のジャンルを指定する禁止ジャンルの情報を登録し、

前記広告素材登録ステップでは、登録する前記広告素材のそれぞれのジャンルを示すジャンル情報を登録し、

前記広告枠に対する各前記スポンサーが配信を要求する前記広告素材のそれぞれのジャンルが、当該広告枠の前記禁止ジャンルに該当するか否かをチェックし、当該メディアに対しチェック結果を通知する広告素材チェックステップを備えることを特徴とする請求項18から請求項21のいずれか一つに記載の広告枠取引仲介方法。

【請求項23】 前記取引情報処理ステップでは、前記広告枠に対する前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーのそれぞれの、業種を示す業種カテゴリ情報を登録し、

1つの前記広告枠に対して前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーの、それぞれの業種が競合するか否かをチェックする競合チェックステップを備え、

各前記スポンサー間に業種の競合がある場合には、前記スポンサーの内で各業種に1つのみに限り当該広告枠における配信を許可することを特徴とする請求項17から請求項22のいずれか一つに記載の広告枠取引仲介方法。

【請求項24】 前記メディアにより承認された前記広告素材を、前記広告の配信を実行する広告送出管理装置に対して送信し格納する広告素材ミラーリングステップを備え、

前記広告素材ミラーリングステップでは、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記承認された広告素材を前記広告送出管理装置に格納し、

前記広告枠の取引が成立し約定された場合には、前記広告送出管理装置に対して、前記広告送出管理装置に格納されている約定された前記広告素材の、予め設定されている配信時点からの配信を指示することを特徴とする請求項17から請求項23のいずれか一つに記載の広告枠取引仲介方法。

【請求項25】 通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引プログラムを記録した記録媒体において、

前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認ステップを備え、

前記広告素材承認ステップでは、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とするコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項26】 各前記スポンサーが前記広告素材を登録する広告素材登録ステップと、

各前記メディアが提供する広告枠の登録を受け付ける広告枠処理ステップと、

各前記スポンサーによる、前記登録された広告枠に対する前記広告素材の配信の要求を受け付けて、管理する取引情報処理ステップを備え、

前記広告素材登録ステップでは、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記広告素材を登録することを特徴とする請求項25に記載のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項27】 前記取引情報処理ステップでは、

前記広告素材の配信の承認が当該メディアにより既にされている場合に限り、前記広告素材の配信の要求を受け付けることを特徴とする請求項26に記載のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項28】 前記広告素材登録ステップでは、

1つの前記スポンサーの1つの前記広告枠に対する、1つ又は複数の前記広告素材を登録し、

前記取引情報処理ステップでは、

1つの前記広告枠に対して1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が

、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認された場合において、前記承認されている広告素材の内から前記スポンサーが実際に配信するものとして指定した前記広告素材を、配信することを特徴とする請求項26又は請求項27に記載のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項29】 1つの前記広告枠に1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認されている場合には、前記広告素材の内の1つを実際に配信するものとして登録して、他の前記広告素材を予備とし、

前記取引情報処理ステップでは、

前記スポンサーによる指示に応じて、前記実際に配信する広告素材と前記予備の広告素材との差し替えを行なうことを特徴とする請求項28に記載のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項30】 前記広告枠処理ステップでは、登録する前記広告枠のそれぞれに対して、当該広告枠において配信しない広告のジャンルを指定する禁止ジャンルの情報を登録し、

前記広告素材登録ステップでは、登録する前記広告素材のそれぞれのジャンルを示すジャンル情報を登録し、

前記広告枠に対する各前記スポンサーが配信を要求する前記広告素材のそれぞれのジャンルが、当該広告枠の前記禁止ジャンルに該当するか否かをチェックし、当該メディアに対しチェック結果を通知する広告素材チェックステップを備えることを特徴とする請求項26から請求項29のいずれか一つに記載のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項31】 前記取引情報処理ステップでは、前記広告枠に対する前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーのそれぞれの、業種を示す業種カテゴリ情報を登録し、

1つの前記広告枠に対して前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーの、それぞれの業種が競合するか否かをチェックする競合チェックステップを備え、各前記スポンサー間に業種の競合がある場合には、前記スポンサーの内で各業

種に1つのみに限り当該広告枠における配信を許可することを特徴とする請求項25から請求項30のいずれか一つに記載のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項32】 前記メディアにより承認された前記広告素材を、前記広告の配信を実行する広告送出管理装置に対して送信し格納する広告素材ミラーリングステップを備え、

前記広告素材ミラーリングステップでは、

前記広告枠の取引前の時点において予め、前記承認された広告素材を前記広告送出管理装置に格納し、

前記広告枠の取引が成立し約定された場合には、前記広告送出管理装置に対して、前記広告送出管理装置に格納されている約定された前記広告素材の、予め設定されている配信時点からの配信を指示することを特徴とする請求項25から請求項31のいずれか一つに記載のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体。

【請求項33】 視聴者の端末に対して情報及び広告を提供する広告送出管理装置において、

広告の各スポンサーと広告を配信する各メディアとの間の広告枠の取引を仲介する市場管理サーバからの制御に基づいて、前記視聴者の端末へ広告を配信し、

前記市場管理サーバから、視聴者に提供する広告のデータである広告素材の送信を受けてこれを記録し、

記録された前記広告素材を前記視聴者の端末に対して、当該広告枠において指定された時刻から配信を開始することを特徴とする広告送出管理装置。

【請求項34】 視聴者の端末に対して情報及び広告を提供する広告送出管理方法において、

広告の各スポンサーと広告を配信する各メディアとの間の広告枠の取引を仲介する市場管理サーバからの制御に基づいて、前記視聴者の端末へ広告を配信するステップと、

前記市場管理サーバから、視聴者に提供する広告のデータである広告素材の送信を受けてこれを記録するステップと、

記録された前記広告素材を前記視聴者の端末に対して、当該広告枠において指定された時刻から配信を開始するステップを備えることを特徴とする広告送出管理方法。

【請求項 35】 コンピュータを制御することにより、視聴者の端末に対して情報及び広告を提供する広告送出管理プログラムを記録した記録媒体において

広告の各スポンサーと広告を配信する各メディアとの間の広告枠の取引を仲介する市場管理サーバからの制御に基づいて、前記視聴者の端末へ広告を配信するステップと、

前記市場管理サーバから、視聴者に提供する広告のデータである広告素材の送信を受けてこれを記録するステップと、

記録された前記広告素材を前記視聴者の端末に対して、当該広告枠において指定された時刻から配信を開始するステップを備えることを特徴とするコンピュータにより読み取り可能な広告送出管理プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信ネットワークを介した商取引の仲介システムに関し、特に各メディアが提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引システムとその広告枠取引仲介方法、及び広告枠取引プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】

広告のスポンサーと広告を配信するメディア（テレビ等）の側とが、通信ネットワークを介して広告枠の取引を行う従来のシステムには、例えば、OneMediaPlace Corp.（ワンメディアプレース社）によるOneMediaPlaceや、CyberCom Inc.（サイバーコム社）によるcm@uction等がある。

【0003】

図24は、従来の広告枠取引システムの処理を説明するためのフローチャートである。

【0004】

こうした従来のシステムでは、メディア側が登録した広告枠の情報を（ステップ2402）、各スポンサーが閲覧して（ステップ2404）希望する広告枠に入札する（ステップ2405）。また、スポンサーの入札した条件で取引が成立した場合には（ステップ2407）、スポンサーはその広告枠において表示する広告のデータをメディア側に渡す（ステップ2408）。そして、メディア側では、その出稿する広告素材の内容のチェックと承認を行い（ステップ2409）、そのスポンサーにより指定された広告をテレビ視聴者等の広告受給者に配信する（ステップ2412、2413）。

【0005】

このように従来では、市場内で約定が成立した後に、メディア側が出稿する広告素材の内容のチェックと承認を行う方式のため、約定した後に実際にその広告が配信されるまでには何日もの時間的遅延が発生する。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

上述したように従来の広告枠取引システムでは、スポンサーとメディア側との約定が成立してから、実際にその広告が配信されるまでには何日もの時間的遅延が生じる。

【0007】

このため、従来では、実際の広告の配信までの期間を考慮した上で広告枠を取引することが必要であった。例えば、より高い落札価格による広告枠の落札を得るために、各スポンサーによる広告枠の入札を、広告を掲載する番組の放映直前まで継続させる等を行うことができなかった。

【0008】

本発明の目的は、広告の配信時刻の直前まで各スポンサーが入札取引を行うことができ、また更に、落札の決定と同時にその落札したスポンサーの広告を配信することができる広告枠取引システムとその広告枠取引仲介方法、及び広告枠取引プログラムを記録した記録媒体を提供することである。

【0009】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため本発明の広告枠取引システムは、通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引システムにおいて、前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認部を備え、前記広告素材承認部は、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とする。

【0010】

本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーがその広告枠を購入又は入札する前に、メディア側において広告素材の認証を済ませることができると、例えばスポンサーの募集から広告の配信までの間の広告の販売期間が短い広告枠においても、その入札取引を行うことが可能となる。

【0011】

請求項2の本発明の広告枠取引システムは、各前記スポンサーが前記広告素材を登録する広告素材登録部と、各前記メディアが提供する広告枠の登録を受け付ける広告枠処理部と、各前記スポンサーによる、前記登録された広告枠に対する前記広告素材の配信の要求を受け付けて、管理する取引情報処理部を備え、前記広告素材登録部は、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記広告素材を登録することを特徴とする。

【0012】

請求項3の本発明の広告枠取引システムは、前記取引情報処理部は、前記広告素材の配信の承認が当該メディアにより既にされている場合に限り、前記広告素材の配信の要求を受け付けることを特徴とする。

【0013】

請求項4の本発明の広告枠取引システムは、前記広告素材登録部は、1つの前記スポンサーの1つの前記広告枠に対する、1つ又は複数の前記広告素材を登録し、前記取引情報処理部は、1つの前記広告枠に対して1つの前記スポンサーに

よる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認された場合において、前記承認されている広告素材の内から前記スポンサーが実際に配信するものとして指定した前記広告素材を、配信することを特徴とする。

【 0 0 1 4 】

本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーが配信を希望する複数の広告素材を同時に登録し、入札前に予め、メディア側がその複数の広告素材を一括して承認することができたため、スポンサーは、その広告の配信前の時点であればいつでも、広告素材を他の承認済みの広告素材の中から選択して差し替えることができる。

【 0 0 1 5 】

請求項 5 の本発明の広告枠取引システムは、1つの前記広告枠に1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認されている場合には、前記広告素材の内の1つを実際に配信するものとして登録して、他の前記広告素材を予備とし、前記取引情報処理部は、前記スポンサーによる指示に応じて、前記実際に配信する広告素材と前記予備の広告素材との差し替えを行なうことを特徴とする。

【 0 0 1 6 】

請求項 6 の本発明の広告枠取引システムは、前記広告枠処理部は、登録する前記広告枠のそれぞれに対して、当該広告枠において配信しない広告のジャンルを指定する禁止ジャンルの情報を登録し、前記広告素材登録部は、登録する前記広告素材のそれぞれのジャンルを示すジャンル情報を登録し、前記広告枠に対する各前記スポンサーが配信を要求する前記広告素材のそれぞれのジャンルが、当該広告枠の前記禁止ジャンルに該当するか否かをチェックし、当該メディアに対しチェック結果を通知する広告素材チェック部を備えることを特徴とする。

【 0 0 1 7 】

本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーにより登録される各広告の広告ジャンルの情報をチェックする広告素材チェック部を備え、各広告の広告ジャンルがその希望する広告枠において採用できないかどうかをチェックする。これにより、メディア側は、各スポンサーが登録した広告素材のジャンルが、その広告

枠に指定した禁止ジャンルに該当しないことを容易に確認することができ、広告素材の承認の煩雑な手間を軽減することができる。このため、メディア側が大量の広告枠を登録した場合においても、広告素材の承認を速やかに行うことができる。

【0018】

請求項7の本発明の広告枠取引システムは、前記取引情報処理部は、前記広告枠に対する前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーのそれぞれの、業種を示す業種カテゴリ情報を登録し、1つの前記広告枠に対して前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーの、それぞれの業種が競合するか否かをチェックする競合チェック部を備え、各前記スポンサー間に業種の競合がある場合には、前記スポンサーの内で各業種に1つのみに限り当該広告枠における配信を許可することを特徴とする。

【0019】

本発明の広告枠取引システムでは、各スポンサーが属する業種カテゴリをチェックする競合チェック部を備え、競合する複数のスポンサーが同時に同じ広告枠について購入又は入札することを防止し、各スポンサーに競合関係がある場合にはその中の1つのスポンサーのみが購入又は落札を行うように制御する。このため、同じ番組に、競合する複数の企業の広告が配信されてしまことを自動的に防止することができる。

【0020】

請求項8の本発明の広告枠取引システムは、前記メディアにより承認された前記広告素材を、前記広告の配信を実行する広告送出管理部に対して送信し格納する広告素材ミラーリング部を備え、前記広告素材ミラーリング部は、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記承認された広告素材を前記広告送出管理部に格納し、前記広告枠の取引が成立し約定された場合には、前記広告送出管理部に対して、前記広告送出管理部に格納されている約定された前記広告素材の、予め設定されている配信時点からの配信を指示することを特徴とする。

【0021】

本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーが登録する広告素材情報を、広

告の配信元である放送局等の側の装置にミラーリングしておくことにより、約定後に広告素材を広告枠取引システムの側から放送局等へ送る処理が不要となり、約定後直ちに広告を配信することができる。これにより、広告の配信を開始する直前まで、広告枠を適正に取引することができる。

【0022】

請求項9の本発明の市場管理サーバは、通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介するサーバ装置である市場管理サーバにおいて、前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認部を備え、前記広告素材承認部は、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とする。

【0023】

請求項10の本発明の市場管理サーバは、各前記スポンサーが前記広告素材を登録する広告素材登録部と、各前記メディアが提供する広告枠の登録を受け付ける広告枠処理部と、各前記スポンサーによる、前記登録された広告枠に対する前記広告素材の配信の要求を受け付けて、管理する取引情報処理部を備え、前記広告素材登録部は、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記広告素材を登録することを特徴とする。

【0024】

請求項11の本発明の市場管理サーバは、前記取引情報処理部は、前記広告素材の配信の承認が当該メディアにより既にされている場合に限り、前記広告素材の配信の要求を受け付けることを特徴とする。

【0025】

請求項12の本発明の市場管理サーバは、前記広告素材登録部は、1つの前記スポンサーの1つの前記広告枠に対する、1つ又は複数の前記広告素材を登録し、前記取引情報処理部は、1つの前記広告枠に対して1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認された

場合において、前記承認されている広告素材の内から前記スポンサーが実際に配信するものとして指定した前記広告素材を、配信することを特徴とする。

【0026】

請求項13の本発明の市場管理サーバは、1つの前記広告枠に1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認されている場合には、前記広告素材の内の1つを実際に配信するものとして登録して、他の前記広告素材を予備とし、前記取引情報処理部は、前記スポンサーによる指示に応じて、前記実際に配信する広告素材と前記予備の広告素材との差し替えを行なうことを特徴とする。

【0027】

請求項14の本発明の市場管理サーバは、前記広告枠処理部は、登録する前記広告枠のそれぞれに対して、当該広告枠において配信しない広告のジャンルを指定する禁止ジャンルの情報を登録し、前記広告素材登録部は、登録する前記広告素材のそれぞれのジャンルを示すジャンル情報を登録し、前記広告枠に対する各前記スポンサーが配信を要求する前記広告素材のそれぞれのジャンルが、当該広告枠の前記禁止ジャンルに該当するか否かをチェックし、当該メディアに対しチェック結果を通知する広告素材チェック部を備えることを特徴とする。

【0028】

請求項15の本発明の市場管理サーバは、前記取引情報処理部は、前記広告枠に対する前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーのそれぞれの、業種を示す業種カテゴリ情報を登録し、1つの前記広告枠に対して前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーの、それぞれの業種が競合するか否かをチェックする競合チェック部を備え、各前記スポンサー間に業種の競合がある場合には、前記スポンサーの内で各業種に1つのみに限り当該広告枠における配信を許可することを特徴とする。

【0029】

請求項16の本発明の市場管理サーバは、前記メディアにより承認された前記広告素材を、前記広告の配信を実行する広告送出管理部に対して送信し格納する広告素材ミラーリング部を備え、前記広告素材ミラーリング部は、前記広告枠の

取引前の時点において予め、前記承認された広告素材を前記広告送出管理部に格納し、前記広告枠の取引が成立し約定された場合には、前記広告送出管理部に対して、前記広告送出管理部に格納されている約定された前記広告素材の、予め設定されている配信時点からの配信を指示することを特徴とする。

【0030】

請求項17の本発明の広告枠取引仲介方法は、通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引仲介方法において、前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認ステップを備え、前記広告素材承認ステップでは、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とする。

【0031】

請求項18の本発明の広告枠取引仲介方法は、各前記スポンサーが前記広告素材を登録する広告素材登録ステップと、各前記メディアが提供する広告枠の登録を受け付ける広告枠処理ステップと、各前記スポンサーによる、前記登録された広告枠に対する前記広告素材の配信の要求を受け付けて、管理する取引情報処理ステップを備え、前記広告素材登録ステップでは、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記広告素材を登録することを特徴とする。

【0032】

請求項19の本発明の広告枠取引仲介方法は、前記取引情報処理ステップでは、前記広告素材の配信の承認が当該メディアにより既にされている場合に限り、前記広告素材の配信の要求を受け付けることを特徴とする。

【0033】

請求項20の本発明の広告枠取引仲介方法は、前記広告素材登録ステップでは、1つの前記スポンサーの1つの前記広告枠に対する、1つ又は複数の前記広告素材を登録し、前記取引情報処理ステップでは、1つの前記広告枠に対して1つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メ

ィアにより承認された場合において、前記承認されている広告素材の内から前記スポンサーが実際に配信するものとして指定した前記広告素材を、配信することを特徴とする。

【 0 0 3 4 】

請求項 2 1 の本発明の広告枠取引仲介方法は、1 つの前記広告枠に 1 つの前記スポンサーによる複数の前記広告素材が、当該広告枠を提供する前記メディアにより承認されている場合には、前記広告素材の内の 1 つを実際に配信するものとして登録して、他の前記広告素材を予備とし、前記取引情報処理ステップでは、前記スポンサーによる指示に応じて、前記実際に配信する広告素材と前記予備の広告素材との差し替えを行なうことを特徴とする。

【 0 0 3 5 】

請求項 2 2 の本発明の広告枠取引仲介方法は、前記広告枠処理ステップでは、登録する前記広告枠のそれぞれに対して、当該広告枠において配信しない広告のジャンルを指定する禁止ジャンルの情報を登録し、前記広告素材登録ステップでは、登録する前記広告素材のそれぞれのジャンルを示すジャンル情報を登録し、前記広告枠に対する各前記スポンサーが配信を要求する前記広告素材のそれぞれのジャンルが、当該広告枠の前記禁止ジャンルに該当するか否かをチェックし、当該メディアに対しチェック結果を通知する広告素材チェックステップを備えることを特徴とする。

【 0 0 3 6 】

請求項 2 3 の本発明の広告枠取引仲介方法は、前記取引情報処理ステップでは、前記広告枠に対する前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーのそれぞれの、業種を示す業種カテゴリ情報を登録し、1 つの前記広告枠に対して前記広告素材の配信を要求する前記スポンサーの、それぞれの業種が競合するか否かをチェックする競合チェックステップを備え、各前記スポンサー間に業種の競合がある場合には、前記スポンサーの内で各業種に 1 つのみに限り当該広告枠における配信を許可することを特徴とする。

【 0 0 3 7 】

請求項 2 4 の本発明の広告枠取引仲介方法は、前記メディアにより承認された

前記広告素材を、前記広告の配信を実行する広告送出管理装置に対して送信し格納する広告素材ミラーリングステップを備え、前記広告素材ミラーリングステップでは、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記承認された広告素材を前記広告送出管理装置に格納し、前記広告枠の取引が成立し約定された場合には、前記広告送出管理装置に対して、前記広告送出管理装置に格納されている約定された前記広告素材の、予め設定されている配信時点からの配信を指示することを特徴とする。

【0038】

請求項25の本発明のコンピュータにより読み取り可能な広告枠取引プログラムを記録した記録媒体は、通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各前記メディアが各前記スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引プログラムを記録した記録媒体において、前記スポンサーが前記広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、前記メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認ステップを備え、前記広告素材承認ステップでは、前記広告枠の取引前の時点において予め、前記メディアが前記登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とする。

【0039】

請求項33の本発明の広告送出管理装置は、視聴者の端末に対して情報及び広告を提供する広告送出管理装置において、広告の各スポンサーと広告を配信する各メディアとの間の広告枠の取引を仲介する市場管理サーバからの制御に基づいて、前記視聴者の端末へ広告を配信し、前記市場管理サーバから、視聴者に提供する広告のデータである広告素材の送信を受けてこれを記録し、記録された前記広告素材を前記視聴者の端末に対して、当該広告枠において指定された時刻から配信を開始することを特徴とする。

【0040】

請求項34の本発明の広告送出管理方法は、視聴者の端末に対して情報及び広告を提供する広告送出管理方法において、広告の各スポンサーと広告を配信する各メディアとの間の広告枠の取引を仲介する市場管理サーバからの制御に基づい

て、前記視聴者の端末へ広告を配信するステップと、前記市場管理サーバから、視聴者に提供する広告のデータである広告素材の送信を受けてこれを記録するステップと、記録された前記広告素材を前記視聴者の端末に対して、当該広告枠において指定された時刻から配信を開始するステップを備えることを特徴とする。

【 0 0 4 1 】

請求項 3 5 の本発明のコンピュータにより読み取り可能な広告送出管理プログラムを記録した記録媒体は、コンピュータを制御することにより、視聴者の端末に対して情報及び広告を提供する広告送出管理プログラムを記録した記録媒体において、広告の各スポンサーと広告を配信する各メディアとの間の広告枠の取引を仲介する市場管理サーバからの制御に基づいて、前記視聴者の端末へ広告を配信するステップと、前記市場管理サーバから、視聴者に提供する広告のデータである広告素材の送信を受けてこれを記録するステップと、記録された前記広告素材を前記視聴者の端末に対して、当該広告枠において指定された時刻から配信を開始するステップを備えることを特徴とする。

【 0 0 4 2 】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【 0 0 4 3 】

図 1 は、本発明の第 1 の実施の形態による広告枠取引システムの構成を示すブロック図である。

【 0 0 4 4 】

図 1 を参照すると、本実施の形態の広告枠取引システムは、スポンサー端末 3 0 及びメディア側端末 4 0 が、広告枠取引を管理するサーバである市場管理部 1 0 0（市場管理サーバ、広告枠取引サーバ）にネットワークを介して接続し広告枠の取引を行う。メディア側端末 4 0 は、スポンサーに対して提供する広告枠の情報を市場管理部 1 0 0 に登録し、スポンサー端末 3 0 は、市場管理部 1 0 0 を介して希望する広告枠に対して入札を行う。

【 0 0 4 5 】

また、市場管理部 1 0 0 は、放送局等の広告の配信を実行する広告送出管理部

10と接続して、各広告枠の約定の情報を通知することにより、広告送出管理部10から約定された広告が視聴者端末20（テレビ受像機、パソコン等）に配信される。

【0046】

ここで、本実施の形態の広告枠取引システムでは、各スポンサーが配信を希望する広告の詳細なデータ（以下これを広告素材と呼ぶ）を、予め入札を行う前等に市場管理部100へ登録することを特徴とする。

【0047】

これにより、予めメディア側による当該広告素材の承認を得ることができ、落札者の決定後に広告素材の承認の手続きを行う必要がなくなるため、約定の成立と同時に広告の配信を実行することができる。

【0048】

図2は、本実施の形態による広告枠取引システムの各部の詳細な構成を示すブロック図である。

【0049】

また、図3から図6は、本実施の形態による広告枠取引システムのデータ構造の一例を示す図であり、それぞれに、図3はユーザ情報50のデータ構造を、図4は広告枠情報60のデータ構造を、図5は取引状況情報70のデータ構造を、図6は広告素材情報80のデータ構造の例を示している。

【0050】

市場管理部100は、本実施の形態の広告枠取引システムが運営する広告枠取引市場を管理し、市場情報処理部120、市場情報記憶部110を備えている。更に、市場情報処理部120は、ユーザ情報処理部130、広告枠処理部140、広告素材管理部150、取引情報管理部160を備えている。

【0051】

ユーザ情報処理部130は、スポンサー側のウェブブラウザ32や、メディア側のウェブブラウザ42からのアクセスを受け付け、スポンサー及びメディア側のユーザ情報50を受け取り、これをユーザ情報記憶部111に格納し市場に登録する。

【0052】

広告枠処理部140は、メディア側のウェブブラウザ42からのアクセスを受け付け、ユーザ情報処理部130を介してメディア側ユーザID52を受信し、市場管理部100内で一意な広告枠ID62を採番し、メディア側端末40の入力部41から入力された情報と合わせて、広告枠情報60として広告枠記憶部112に格納し、市場に登録する。

【0053】

ここで、メディア側端末40の入力部41から入力された情報とは、具体的には取引の対象となる広告枠がどういうメディアのどの場所に属するものであるかを示すメディア情報63、広告素材をどの期間又はどの回数を視聴者端末に向けて送出するかを示す表示スケジュール情報64、定価販売やオークションのうちからどういう取引形態で広告枠を取引するかを示す取引形態情報65、どういうジャンルに属する広告素材はその広告枠に配信することを禁止するかを示す禁止ジャンル情報66である。

【0054】

広告枠処理部140は、広告枠情報60を市場に登録後、取引情報処理部161に、市場に新しい広告枠が登録されたことを伝達するために、採番した広告枠ID62を送信する。

【0055】

また、広告枠処理部140は、アクセスを、メディア側のウェブブラウザ42、広告素材承認部154、広告素材チェック部155、取引情報処理部161等から受け付けて、広告枠記憶部112に格納されている広告枠情報60を返信する。

【0056】

広告素材管理部150は、広告素材登録部151、広告素材マッピング部152、広告素材変更部153、広告素材承認部154、広告素材チェック部155、広告素材配信部156、広告素材ミラーリング部157を備えている。

【0057】

広告素材登録部151は、スポンサー側ウェブブラウザ32からのアクセスを

受け付け、ユーザ情報処理部130を介してスポンサー側ユーザID51を受信し、スポンサー内広告素材記憶部33に格納されていた広告素材を受け取り、その広告素材コンテンツ84に、市場管理部100内で一意な広告素材ID82を採番し、広告素材ミラーリング部157を経由して市場用広告素材記憶部114に格納し、市場に登録する。

【0058】

広告素材登録部151は、広告素材情報80の登録の際には、スポンサー端末30の入力部31によって広告素材名83と広告素材の属するジャンル情報85を付記して広告素材コンテンツ84と同時に市場に登録する。この作業は、「市場で約定が成立したら即座に広告素材配信部156が結果を配信する」ために必須である。また、登録後に、広告素材名83とジャンル情報85を変更することや、広告素材情報80自体の削除も同様に可能である。

【0059】

広告素材マッピング部152は、スポンサー側ウェブブラウザ32からの取引情報処理部161を介してのアクセスを受け付け、ユーザ情報処理部130を介してスポンサー側ユーザID51を受信し、スポンサーがどの広告素材をどの広告枠に表示させたいかを登録させる。

【0060】

ここで、スポンサーは、出稿する可能性のある広告素材を、最大仮登録広告素材数65-7に示されている数まで複数仮登録することができる。これは出稿する可能性のある広告素材IDのリストを、予備マッピング広告素材IDリスト73-2に代入することによって実現される。仮登録後、スポンサーは、実際に出稿する広告素材をマッピング広告素材ID73-1で指定するのである。

【0061】

広告素材マッピング部152は、取引状況情報70の中から、広告枠ID71が広告素材を出稿する広告枠ID62と同じものを取得し、そのマッピング情報73に、対応させるべき広告素材ID82のIDのリストとそのジャンル情報85のリストを、それぞれ予備マッピング広告素材IDリスト73-2とジャンル情報リスト73-3として格納し、予備マッピング広告素材IDリスト73-2

の中から実際に出稿される広告素材をマッピング広告素材ID73-1として指定し、取引情報処理部161を介して取引情報記憶部113に格納し、市場に登録する。この作業は、「市場で約定が成立したら即座に広告素材配信部156が結果を配信する」ために必須である。

【0062】

また、広告素材マッピング部152は、競合チェック部162からマッピング広告素材ID73-1を受信し、市場用広告素材記憶部114から広告素材情報80を取得し、マッピング広告素材ID73-1に対応するスポンサー側ユーザID81を競合チェック部162に送信する。

【0063】

広告素材変更部153は、スポンサー側ウェブブラウザ32からの取引情報処理部161を介してのアクセスを受け付け、ユーザ情報処理部130を介してスポンサー側ユーザID51を受信し、事前に広告素材マッピング部152で登録されたマッピング広告素材ID73-1が参照している予備マッピング広告素材IDリスト73-2の中の広告素材IDを、予備マッピング広告素材IDリスト73-2の中の他の広告素材IDに変更する。

【0064】

取引状況情報70内のマッピング広告素材ID73-1の予備マッピング広告素材IDリスト73-2への参照関係の変更結果は、取引情報処理部161を介して取引情報記憶部113に格納され、市場に登録される。

【0065】

この作業は、事前に広告素材マッピング部152で広告枠ID71とマッピング広告素材ID73-1のマッピング作業を終えた後で、かつ該当するマッピング広告素材ID73-1の配信が該当する広告枠ID71に配信される以前の場合にのみ可能である。

【0066】

広告素材承認部154は、メディア側ウェブブラウザ42からのアクセスを受け付け、ユーザ情報処理部130を介してメディア側ユーザID52を受信し、広告枠処理部140を介して広告枠情報60の中から、メディア側ユーザID6

1 の値が、受信したメディア側ユーザ ID 52 と同じ値を持つものを選び出し、その広告枠 ID 62 のリストを取得し、この広告枠 ID 62 とマッピング関係にあるそれぞれの広告素材 ID 82 のリストと、その広告素材が市場に登録された際に同時に付記されたジャンル情報 85 を、広告枠処理部 140 を介して取引情報処理部 161 にアクセスして取得し、「広告枠 ID 71 のリスト」と「この広告枠 ID 71 とマッピング関係にあるそれぞれのマッピング広告素材 ID 73-1 のリスト」と「広告素材のジャンル情報リスト 73-3」からなるマッピング・テーブルを作成し、メディア側ウェブブラウザ 42 に送信する。

【0067】

ここで、メディア側は、マッピング・テーブルを参照し、「マッピング広告素材 ID 73-1 のリスト」にそれぞれ対応する広告素材コンテンツ 84 を広告素材承認部 154 から取得し、広告素材の内容とジャンル情報に不備がないことを確認し、メディア側端末 40 の入力部 41 を用いて、不備がなければ承認を不備があれば否認をする。承認結果及び否認結果は、共に広告素材承認部 154 に送信され、広告素材承認部 154 は広告枠処理部 140 を介して取引情報処理部 161 に結果を送信し、承認状況 73-4 に結果を格納し、取引情報記憶部 113 に格納され、市場に登録される。この作業は、「市場で約定が成立したら即座に広告素材配信部 156 が結果を配信する」ために必須である。

【0068】

広告素材チェック部 155 は、メディア側ウェブブラウザ 42 が広告素材承認部 154 にアクセスした時に自動的に呼ばれる。広告素材チェック部 155 は、広告素材承認部 154 からメディア側ユーザ ID 52 と、「広告枠 ID 71 のリスト」と「この広告枠 ID 71 とマッピング関係にあるそれぞれのマッピング広告素材 ID 73-1 のリスト」と「広告素材のジャンル情報リスト 73-3」からなるマッピング・テーブルを受信し、更に広告枠処理部 140 を介して広告枠 ID 71 を広告枠 ID 62 として持つ広告枠情報 60 の中の、禁止ジャンル情報 66 を取得する。

【0069】

広告素材チェック部 155 は、広告素材のジャンル情報リスト 73-3 のリス

トと禁止ジャンル情報66を比較し、ジャンルが合致していた場合は対応するマッピング広告素材ID73-1の承認状況73-4を「広告枠の禁止ジャンルとバッティングしています」に書き換える。

【0070】

ジャンルが合致していなかった場合は対応するマッピング広告素材ID73-1の承認状況73-4を「広告枠の禁止ジャンルとバッティングしていません」に書き換える。

【0071】

広告素材配信部156は、取引情報処理部161によって約定が成立した際に、取引情報処理部161から広告枠ID62、約定広告素材IDリスト75、表示開始時間64-1、表示終了時間64-2、募集スポンサー数65-3を受信し、これを広告送出处理部11に配信する。

【0072】

広告素材ミラーリング部157は、広告素材管理部150の内部では広告素材登録部151と接続しており、外部では市場用広告素材記憶部114と送出用広告素材記憶部12と接続している。

【0073】

また、広告素材登録部151が市場用広告素材記憶部114に書き込みをする際には、広告素材ミラーリング部157が書き込み内容を監視しており、市場用広告素材記憶部114への書き込みによる変更の差分だけを送出用広告素材記憶部12に送信している。これにより市場用広告素材記憶部114の内容が送出用広告素材記憶部12の内容と常に一致し、ミラーリングすることができる。

【0074】

取引情報管理部160は、取引情報処理部161、競合チェック部162、リアルタイム情報処理部163を備えている。

【0075】

取引情報処理部161は、取引情報記憶部113に格納される取引状況情報70の管理を行っている。また、取引情報処理部161は、スポンサー側ウェブブラウザ32からのアクセスを受け付け、登録された各広告枠に対するビッド (bi

d: 入札) の管理を行っている。更に、取引情報処理部 161 は、広告枠処理部 140 を介して広告枠情報 60 を取得し、取引形態情報 65 に従った広告枠の販売の管理を行っている。また、取引情報処理部 161 は、取引状況情報 70 に書き込みを行う際には、取引情報記憶部 113 に書き込みを行うと同時に、変更の差分をリアルタイム情報処理部 163 にも送信する。

【0076】

また、取引情報処理部 161 は、広告枠情報 60 と取引状況情報 70 に基づいて約定の管理を行っている。約定の際に、競合チェック部 162 によって競合状況が「競合あり」になっている場合には、取引情報処理部 161 は、ビッド価格 74-2 が例え約定に十分な額であったとしても、競合関係にある各スポンサーの中から 1 スポンサーのみを選択して購入権限又は落札権限を与える。約定が成立した際には、取引情報処理部 161 は、まず出稿が決定したマッピング広告素材 ID 73-1 を約定広告素材 ID リスト 75 にコピーし、次に広告枠 ID 62、約定広告素材 ID リスト 75、表示開始時間 64-1、表示終了時間 64-2、募集スポンサー数 65-3 を、広告素材配信部 156 に送信する。

【0077】

競合チェック部 162 は、まず取引情報処理部 161 を介して取得した取引状況情報 70 の中からスポンサー側ユーザ ID 74-1 を取得し、ユーザ情報処理部 130 にアクセスして対応する業種カテゴリ 55 を取得する。次に、業種カテゴリ 55 が競合する場合には、競合チェック部 162 は、競合する各スポンサーについて競合状況 74-3 を「競合あり」と書き込む。競合がない場合には、競合チェック部 162 は、「競合なし」と書き込む。

【0078】

リアルタイム情報処理部 163 は、取引状況情報 70 に変更が加わる度に、その差分を取引情報処理部 161 から受信し、リアルタイム情報表示部 34 に送信する。

【0079】

市場情報記憶部 110 は、ユーザ情報記憶部 111、広告枠記憶部 112、取引情報記憶部 113、市場用広告素材記憶部 114 を備えている。

【0080】

ユーザ情報記憶部111は、ユーザ情報処理部130からのアクセスを受け付け、ユーザ情報50を格納している。広告枠記憶部112は、広告枠処理部140からのアクセスを受け付け、広告枠情報60を格納している。取引情報記憶部113は、取引情報処理部161からのアクセスを受け付け、取引状況情報70を格納している。市場用広告素材記憶部114は、広告素材ミラーリング部157からのアクセスを受け付け、広告素材情報80を格納している。

【0081】

スポンサー端末30は、入力部31、ウェブブラウザ32、スポンサー端末30内の広告素材記憶部33、リアルタイム情報表示部34を備えている。

【0082】

入力部31は、スポンサー側ウェブブラウザ32に情報を入力する。ウェブブラウザ32は、入力部31から入力された情報を市場情報処理部120にアップロードし、市場情報処理部120からダウンロードした情報を表示する。スポンサー端末30内の広告素材記憶部33は、広告素材コンテンツを保持しており、スポンサー側ウェブブラウザ32を介して市場用広告素材記憶部114に広告素材コンテンツ84としてアップロードされる。リアルタイム情報表示部34は、取引状況情報70に変更が加わる度に、その差分をリアルタイム情報処理部163から受信し表示する。

【0083】

メディア側端末40は、入力部41、ウェブブラウザ42を備えている。

【0084】

入力部41は、メディア側ウェブブラウザ42に情報を入力する。ウェブブラウザ42は、入力部41から入力された情報を市場情報処理部120にアップロードし、市場情報処理部120からダウンロードした情報を表示する。

【0085】

広告送出管理部10（広告送出管理装置）は、広告送出処理部11、送出用広告素材記憶部12を備えている。

【0086】

広告送出处理部 1 1 は、取引情報処理部 1 6 1 によって約定が成立した際に、まず広告素材配信部 1 5 6 から広告枠 I D 6 2、約定広告素材 I D リスト 7 5、表示開始時間 6 4 - 1、表示終了時間 6 4 - 2、募集スポンサー数 6 5 - 3、のデータを受信する。

【 0 0 8 7 】

そして、広告送出处理部 1 1 は、表示開始時間 6 4 - 1 から表示終了時間 6 4 - 2 までの期間に、広告枠 I D 6 2 に対応するメディアに向けて、送出用広告素材記憶部 1 2 から取得した募集スポンサー数 6 5 - 3 で指定された数の約定広告素材 I D リスト 7 5 に対応する広告素材を、視聴者端末 2 0 の受信部 2 1 に送出する。

【 0 0 8 8 】

送出用広告素材記憶部 1 2 は、広告素材ミラーリング部 1 5 7 から広告素材情報 8 0 の変更の差分を受信し、市場用広告素材記憶部 1 1 4 の内容をミラーリングする。これにより、広告送出处理部 1 1 が広告素材を受信部 2 1 に送出する際には、わざわざ市場用広告素材記憶部 1 1 4 から広告素材コンテンツ 8 4 を転送する必要がなくなり、送出处理のための大きな時間の遅延が発生しないので、市場で約定が成立した直後に広告素材を送出させることが可能になる。

【 0 0 8 9 】

視聴者端末 2 0 は、受信部 2 1、表示部 2 2 を備えている。

【 0 0 9 0 】

受信部 2 1 は、広告送出处理部 1 1 から募集スポンサー数 6 5 - 3 で指定された数の約定広告素材 I D リスト 7 5 に対応する広告素材を受信し、表示部 2 2 に送信する。表示部 2 2 は、受信部 2 1 から取得した募集スポンサー数 6 5 - 3 で指定された数の約定広告素材 I D リスト 7 5 に対応する広告素材を表示する。

【 0 0 9 1 】

次に、本実施の形態の広告枠取引システムの動作を図面を参照して詳細に説明する。図 7 は、本実施の形態による広告枠取引システムの処理を説明するためのフローチャートである。

【 0 0 9 2 】

まず、スポンサー端末30及びメディア側端末40が、それぞれのユーザ情報50を市場管理部100に登録する（ステップ701、ステップ702）。

【0093】

次に、メディア側端末40が、広告枠情報60を市場管理部100に登録し（ステップ703）、スポンサー端末30が、広告素材情報80を市場管理部100に登録する（ステップ704、ステップ705）。この際、広告素材ミラーリング部157は、市場用広告素材記憶部114の内容を送出用広告素材記憶部112にミラーリングする（ステップ706）。

【0094】

その後、スポンサー端末30は、広告枠情報60と取引状況情報70を取得し、広告枠の販売状況を閲覧する（ステップ707）。次に、スポンサー端末30が、選択した広告枠の広告枠ID71にマッピング広告素材ID73-1をマッピングする（ステップ708）。この際、マッピングする広告素材は、予備マッピング広告素材IDリスト73-2として複数登録することができ、その中から実際にマッピングさせたい広告素材をマッピング広告素材ID73-1として指定する。

【0095】

このマッピング情報73に登録された予備マッピング広告素材IDリスト73-2を、メディア側端末40で承認をする際には、予め広告素材チェック部155が広告素材のジャンル情報リスト73-3と禁止ジャンル情報66を比較し、メディア側端末40の承認作業を軽減する（ステップ710、ステップ711）。

【0096】

この際、承認が行われる前にマッピング広告素材ID73-1の参照先を予備マッピング広告素材IDリスト73-2内で変更することができる、また、承認された後でも変更することができる、ただし、以上の変更作業は広告枠ID71にビッドする以前でなければならない（ステップ709）。

【0097】

もし、ステップ711において否認された場合には、その広告枠ID71にビ

ッドすることはできなくなり、ステップ704に戻り、スポンサー端末30は広告素材情報80を市場管理部100に登録しなおさなければならない。

【0098】

また、ステップ711において広告素材が承認された場合には、広告枠にビッドすることができる（ステップ712）。ビッドの際、スポンサー端末30から提示された価格はビッド価格74-2として、スポンサー側ユーザID74-1と共にビッドログ74に蓄積されていく。

【0099】

ここで、複数のスポンサー端末30からビッドがあった場合には、各スポンサーの業種カテゴリ55の競合が発生する可能性がある。

【0100】

そこで、競合チェック部162は、ビッドされたそれぞれのスポンサーの業種カテゴリ55を取得して比較し、競合があった場合には、競合しているスポンサーの中でビッド価格が最も高いものだけに約定の権限を与え（ステップ714）、競合状況74-3に「競合あり、約定圏内」と書き込み、競合している他のスポンサーの競合状況74-3に「競合あり、約定不可能」と書き込み、競合していないスポンサーの競合状況74-3には「競合なし、約定圏内」と書き込む。約定圏内のスポンサーはステップ715に進むが、約定不可能のものはステップ707に戻る。

【0101】

また、そもそも競合チェック部162による競合チェックにより競合がなかった場合には、ビッドされた全てのスポンサーの競合状況74-3に「競合なし、約定圏内」と書き込み、ステップ715に進む。

【0102】

ステップ715では、取引情報処理部161が約定処理を行い、約定が成立した場合はステップ716に進み、失敗したスポンサーはステップ707に戻る。

【0103】

約定が成立したスポンサーのマッピング広告素材ID73-1は、約定広告素材IDリスト75へコピーされる。

【0104】

約定が成立すると、広告素材配信部156が広告送出处理部11に、約定結果として広告枠ID62、約定広告素材IDリスト75、表示開始時間64-1、表示終了時間64-2、募集スポンサー数65-3を配信する（ステップ716）。

【0105】

これを受信した広告送出处理部11は、表示開始時間64-1から表示終了時間64-2の期間に、その広告枠ID62に対応するメディアに向けて、送出用広告素材記憶部12から取得した、募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75に対応する広告素材を、視聴者端末20の受信部21に送出する（ステップ717）。

【0106】

この際、送出用広告素材記憶部12は、市場用広告素材記憶部114の内容をミラーリングしているので、わざわざ市場用広告素材記憶部114から広告素材コンテンツ84を転送する必要がなく、送出处理のための大きな時間の遅延が発生しない。このため、例えば、市場で約定が成立した直後に広告素材を送出することも可能である。

【0107】

視聴者端末20の受信部21は、広告送出处理部11から募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75に対応する広告素材を受信し、表示部22に送信し、表示部22は、受信部21から取得した募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75に対応する広告素材を表示する（ステップ718）。

【0108】

次に、本実施の形態の広告枠取引システムの処理を、具体的な実施例を用いて説明する。図8から図11は、本実施例のデータを示す図であり、それぞれに、図8はユーザ情報50、図9は広告枠情報60、図10は取引状況情報70、図11は広告素材情報80の例を示している。また本実施例では、広告枠取引市場と広告送出システムのプロトタイプシステムの画面例（図16～図23）の説明

も併記する。図16は、本実施例実施の形態の広告枠取引市場のウェブサイトのホームページの表示画面の一例を示す図であり、各利用者の広告枠取引市場のウェブサイトへの接続時には、そのウェブブラウザにこの図16のページが表示される。

【0109】

まず、ステップ701において、スポンサー端末30から、ユーザ情報50aをユーザ情報処理部130に登録する。すると、ユーザ情報処理部130は、登録されたスポンサー側ユーザ情報50aのユーザID51aを採番する(図17)。ここでは、図8のスポンサー側ユーザ情報50aの#1に示されるように、ユーザ名53aが“NEC”であり、業種カテゴリ55aは“コンピュータ”であるユーザ情報を受け付けて、スポンサー側ユーザID51aとして“00051”を採番したものとする。

【0110】

ステップ702において、メディア側端末40から、メディア側ユーザ情報50bをユーザ情報処理部130に登録する。ユーザ情報処理部130は、登録されたスポンサー側ユーザ情報50aのユーザID52bを採番する。ここでは、図8に示されるように、ユーザ名53bが“BS-BIGLOBE”であり、業種カテゴリ55bが“BSデジタル放送事業者”であるユーザ情報50bを受け付けて、メディア側ユーザID52bとして“00032”を採番したものとする。

【0111】

ステップ703において、メディア側端末40が広告枠情報60を市場管理部100に登録する(図18)。

【0112】

図9に示されるように、この広告枠ID62の広告枠情報は、メディアとしてはBSデジタル放送の高視聴率が予想されるドラマ番組であり、視聴者に送出される時間は番組内の“5分間”であり、販売形態としては“オークション”で“1社”のみが約定可能で、オークションの開始時間は広告素材が視聴者に送出される“1時間前”に開始し、送出の“直前”に終了し、オークションの初期価格

は“20万円”に設定され、スポンサーが登録できる最大の予備マッピング広告素材の数は“5個”までである。

【0113】

この時、市場管理部100内で取引状況情報70が生成され、初期化される。この時点では、価格情報72は初期価格と同じ“20万円”であり、マッピング情報73、ビッドログ74、約定広告素材IDリスト75には何も代入されていない。

【0114】

ステップ704、ステップ705において、スポンサー端末30が広告素材情報80を市場管理部100に登録する(図19)。図11に示されるように、この広告素材ID82の広告素材情報は、パソコンに関連するものである。この時、予備マッピング広告素材として使用するために、同時に他の広告素材を複数登録してもよい。

【0115】

ステップ706において、広告素材ミラーリング部157が市場用広告素材記憶部114の内容を送出用広告素材記憶部12にミラーリングする。

【0116】

ステップ707において、スポンサー端末30は広告枠情報60と取引状況情報70を取得し、広告枠の販売状況を閲覧する(図20)。

【0117】

ステップ708において、スポンサー端末30が広告枠ID71にマッピング広告素材ID73-1をマッピングする(図21)。

【0118】

まず、広告素材ID82と、ステップ704で複数登録しておいた他の広告素材2つを、予備マッピング広告素材IDリスト73-2に登録する。次に、その中から実際にマッピングさせたい広告素材をマッピング広告素材ID73-1として指定する。この段階で、広告素材ID82の広告素材がマッピング広告素材ID73-1に登録されたことになる。

【0119】

ここで、図8のスポンサー側ユーザ情報50aの#2に示される自動車関連の他社が、その会社の広告素材を2つ予備マッピング広告素材としてマッピング情報73に登録してきた場合を考える。

【0120】

ステップ710において、マッピング情報73に登録された（#1と#2のそれぞれの）予備マッピング広告素材IDリスト73-2を、メディア側端末40で承認をする際には、予め広告素材チェック部155がそれぞれの広告素材のジャンル情報リスト73-3と禁止ジャンル情報66を比較し、禁止されているジャンルがジャンル情報リスト73-3にある場合には、そのジャンル情報に「禁止ジャンルあり」と付記する。

【0121】

この例では、禁止ジャンルに合致するものはないが、もし、禁止ジャンル情報66に「携帯電話」が入っていた場合には、ジャンル情報リスト73-3の内容は「パソコン（禁止ジャンルなし）、パソコン（禁止ジャンルなし）、携帯電話（禁止ジャンルあり）」となる。メディア側端末40が承認を行う際には、各ジャンル情報リスト73-3を一覧すればよいので、承認作業が軽減する。

【0122】

ステップ711において、メディア側端末40は、（#1、#2の）予備マッピング広告素材IDリスト73-2の広告素材の承認を行う。承認した場合には、それぞれの承認状況73-4に「承認済み」を書き込む。否認した場合には、承認状況には「否認」と書き込み、そのスポンサーはその広告枠にビッドすることはできない。この場合には、ステップ704に戻り、スポンサーは広告素材情報80を市場管理部100に登録しなおす。

【0123】

ステップ709において、承認が行われる前にこのスポンサーは、マッピング広告素材ID73-1の参照先を予備マッピング広告素材IDリスト73-2内で変更することができる。また、承認された後でも変更することができる。ただし、以上の変更作業は広告枠にビッドする以前でなければならない（図22）。

【0124】

ステップ712において、スポンサーは広告枠にビッドする。まず、#1のスポンサーが広告枠ID71に250,000円で入札すると、その結果が1番目のビッドログ74（#A）のスポンサー側ユーザID74-1の項目に、当該スポンサー側ユーザID81（00051）が代入され、ビッド価格74-2の項目に“250,000円”が代入される。

【0125】

ステップ713において、競合チェック部が競合状況をチェックするが、この段階では他に競合するスポンサーがないので、競合状況74-3には「競合なし、約定圏内」と書き込まれる。

【0126】

また別の#2のスポンサーが、同じ広告枠に“300,000円”で入札すると、その結果が2番目のビッドログ74（#B）に、スポンサー側ユーザID74-1（00086）や、ビッド価格74-2（300,000円）が代入される。

【0127】

競合チェック部162が、競合状況をチェックするが、#1のスポンサーの業種カテゴリは“コンピュータ”であり、#2のスポンサーの業種カテゴリは“自動車”なので、競合していない。このため、それぞれの競合状況74-3の欄には「競合なし、約定圏内」と書き込まれる。

【0128】

更にここで、#1のスポンサーがこの同じ広告枠に今度は“350,000円”で入札すると、この情報がビッドログ74の3番目（#C）に、スポンサー側ユーザID74-1（00051）やビッド価格74-2（350,000円）として新たに代入される。

【0129】

競合チェック部162は、競合状況をチェックするが競合していないため、各スポンサーの競合状況74-3には「競合なし、約定圏内」と書き込む。そのため、ステップ714には進まず、ステップ715に進む。

【0130】

ステップ715において、販売終了時間65-5になった時、最高価格を提示しているのは#1のスポンサーの“350、000円”のビッド価格74-2であり、募集スポンサー数65-3が“1社”であるため、#1のスポンサーに落札が決定する。この落札・約定の管理は、取引情報処理部161が行う。

【0131】

この落札時においては、約定広告素材IDリスト75には、落札者である#1のスポンサーのマッピング広告素材ID73-1がコピーされる。

【0132】

ステップ716において、約定が成立すると、広告素材配信部156が広告送出处理部11に、約定結果として広告枠ID62と約定広告素材IDリスト75と表示開始時間64-1と表示終了時間64-2と募集スポンサー数65-3を配信する。

【0133】

ステップ717において、これを受信した広告送出处理部11は、表示開始時間64-1から表示終了時間64-2の期間に、この広告枠ID62に対応するメディアに向けて、送出用広告素材記憶部12から取得した募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75の広告素材を、受信部21に送出する。

【0134】

この際、送出用広告素材記憶部12が市場用広告素材記憶部114の内容をミラーリングしているので、わざわざ市場用広告素材記憶部114から広告素材コンテンツ84を転送する必要がなくなり、送出処理のための大きな時間の遅延が発生しないので、市場で約定が成立した直後に広告素材を送出させることが可能になる。

【0135】

ステップ718において、受信部21は、広告送出处理部11から募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75に対応する広告素材を受信し、表示部22に送信し、表示部22は、受信部21から取得した募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75に対応する

広告素材を表示する（図 2 3）。

【 0 1 3 6 】

次に、本実施の形態の広告枠取引システムの処理を、別の実施例を用いて説明する。図 1 2 から図 1 5 は、本実施例のデータを示す図であり、それぞれに、図 1 2 はユーザ情報 5 0、図 1 3 は広告枠情報 6 0、図 1 4 は取引状況情報 7 0、図 1 5 は広告素材情報 8 0 の例を示している。

【 0 1 3 7 】

ステップ 7 0 1 において、各スポンサーは、スポンサー端末 3 0 からスポンサー側ユーザ情報 5 0 a をユーザ情報処理部 1 3 0 に登録する。ユーザ情報処理部 1 3 0 は、登録された各スポンサー側ユーザ情報 5 0 a にユーザ ID 5 1 a を採番する。

【 0 1 3 8 】

ここでは、図 1 2 の # 1 から # 3 のスポンサー側ユーザ情報 5 0 a に示されるように、# 1 のスポンサーから、ユーザ名 5 3 a が“NEC”であり、業種カテゴリ 5 5 a が“コンピュータ”であるスポンサー側ユーザ情報 5 0 a を受け付けて、スポンサー側ユーザ ID 5 1 a として“0 0 0 5 1”を採番している。

【 0 1 3 9 】

また更に、# 2 のスポンサーから、ユーザ名 5 3 a が“MDB”であり、業種カテゴリ 5 5 a が“コンピュータ”であるスポンサー側ユーザ情報 5 0 a を受け付けて、スポンサー側ユーザ ID 5 1 a として“0 0 3 6 4”を採番している。

【 0 1 4 0 】

また更に、# 3 のスポンサーから、ユーザ名 5 3 a が“OFD”であり、業種カテゴリ 5 5 a が“保険”であるスポンサー側ユーザ情報 5 0 a を受け付けて、スポンサー側ユーザ ID 5 1 a として“0 0 3 7 8”を採番している。

【 0 1 4 1 】

ステップ 7 0 2 において、メディア側端末 4 0 から、ユーザ情報 5 0 a をユーザ情報処理部 1 3 0 に登録する。ユーザ情報処理部 1 3 0 は、登録されたユーザ情報 5 0 a のメディア側ユーザ ID 5 2 b を採番する。

【 0 1 4 2 】

ここでは、図12に示されるように、ユーザ名53bが“BIGLOBE”であり、業種カテゴリ55bが“インターネットプロバイダ”であるメディア側ユーザ情報50bを受け付けて、メディア側ユーザID52bとして“00482”を採番している。

【0143】

ステップ703において、メディア側端末40が広告枠情報60を市場管理部100に登録する。

【0144】

ここで、この広告枠ID62の広告枠情報は、図13に示されるように、メディアとしては同社の所有するインターネットの“ウェブページ”であり、視聴者に送出される期間は“1ヶ月間”であり、販売形態としてはカタログ定価販売で“2社”が約定可能で、オークションの開始時間は広告素材が視聴者に送出される約5日前に終了し、カタログ定価販売の価格は“100,000円”に設定され（オークションとは異なり、カタログ定価販売では、価格は登録後に変動しない）、スポンサーが登録できる最大の予備マッピング広告素材の数は“5個”までである。この時、市場管理部100内で取引状況情報70が生成され、初期化される。

【0145】

ステップ704、ステップ705において、#1のスポンサーが、スポンサー端末30から広告素材情報80を市場管理部100に登録する。この広告素材ID82の広告素材情報は、“パソコン”に関連するものである。この時、予備マッピング広告素材として使用するために、同時に他の広告素材（例えば携帯電話等）を複数登録してもよい。ここで、同様にして、#2や#3のスポンサーも広告素材を市場に登録する。

【0146】

ステップ706において、広告素材ミラーリング部157が、市場用広告素材記憶部114の内容を送出用広告素材記憶部12にミラーリングする。

【0147】

ステップ707において、スポンサーは、スポンサー端末30により広告枠情

報 60 と取引状況情報 70 を取得し、広告枠の販売状況を閲覧する。

【0148】

ステップ 708 において、スポンサーは、スポンサー端末 30 によりこの広告枠にマッピング広告素材 ID 73-1 をマッピングする。例えば、#1 のスポンサーが、広告素材 ID 82 とステップ 704 で複数登録しておいた他の広告素材 2 つを、予備マッピング広告素材 ID リスト 73-2 に登録する。次に、その中から実際にマッピングさせたい広告素材をマッピング広告素材 ID 73-1 として指定する。この段階で、広告素材 ID 82 の広告素材がマッピング広告素材 ID 73-1 (#1) に登録されたことになる。

【0149】

ここで、#2 の他社が、同様にして、デジカメ関連の広告素材を 2 つ予備マッピング広告素材 ID 73-1 (#2) に登録してきたものとする。また更に、#3 の他社が、生命保険関連の広告素材を 1 つ予備マッピング広告素材 ID 73-1 (#3) に登録してきたものとする。

【0150】

ステップ 710 において、マッピング情報 73 に登録された (#1 から #3 の) 各予備マッピング広告素材を、メディア側端末 40 で承認をする際には、予め広告素材チェック部 155 が、(#1 から #3 の) 各広告素材のジャンル情報リスト 73-3 と禁止ジャンル情報 66 を比較し、禁止されているジャンルがジャンル情報リスト 73-3 にあった場合には、そのジャンル情報に「禁止ジャンルあり」と付記する。ここでの例では、禁止ジャンルに合致するものはない。

【0151】

各メディア側の担当者が、メディア側端末 40 を介して承認を行う際には、この各ジャンル情報リスト 73-3 の欄を一覧すればよいので、容易に承認作業を行うことができる。

【0152】

ステップ 711 において、各メディアは、メディア側端末 40 から (#1 から #3 の) 各予備マッピング広告素材 ID リスト 73-2 の広告素材の承認を行う。承認した場合には、各スポンサーの承認状況 73-4 の欄に「承認済み」が書

き込まれる。

【0153】

ステップ709において、承認が行われる前に各スポンサーは、マッピング広告素材ID73-1の参照先を予備マッピング広告素材IDリスト73-2内で自由に変更することができる。また、広告素材が承認された後でも変更することができる。ただし、この参照先の変更作業は、当該広告枠にビッドする以前でなければならない。

【0154】

ステップ712において、各スポンサーは、広告枠にビッドする。まず、#1のスポンサーが、この広告枠を“100,000円”で購入すると、その結果がビッドログ74（#A）のスポンサー側ユーザID74-1の欄に、スポンサー側ユーザID51a（00051）が代入され、ビッド価格74-2（100,000）が代入される。

【0155】

ステップ713において、競合チェック部が競合状況をチェックするが、この段階では他に競合するスポンサーがないので、競合状況74-3には「競合なし、約定圏内」と書き込まれる。

【0156】

続いて、#2のスポンサーが、同じ広告枠（同じ広告枠ID71（00482）の広告枠）を“100,000円”で購入すると、その結果がビッドログ74（#B）のスポンサー側ユーザID74-1や、ビッド価格74-2の欄に代入される。

【0157】

競合チェック部が競合状況をチェックするが、#1のスポンサーの業種カテゴリは“コンピュータ”であり、#2のスポンサーの業種カテゴリも“コンピュータ”であるため、競合が発生している。このため、#2のスポンサーは、この広告枠を購入できない。ここでの例では、先にビッドしたスポンサーを優先するものとして、#1のスポンサーの競合状況74-3の欄には「競合あり、約定圏内」、#2のスポンサーの競合状況74-3の欄には「競合あり、約定不可能」と

書き込む。

【0158】

更に、#3のスポンサーが同じ広告枠を“100,000円”で購入すると、その結果がビッドログ74（#C）のスポンサー側ユーザID74-1の欄に#3のスポンサー側ユーザID51a（00378）が代入され、ビッド価格74-2（100,000）が代入される。

【0159】

競合チェック部が競合状況をチェックするが、#3のスポンサーの業種カテゴリ55である“保険”は、他社と競合していないため、#3のスポンサーの競合状況74-3の欄には「競合なし、約定圏内」と書き込まれる。そのため、ステップ714には進まず、ステップ715に進む。

【0160】

ステップ715において、販売終了時間65-5になった時、約定圏内のスポンサーは#1と#2のスポンサーであり、かつ募集スポンサー数65-3が“2社”であるため、この#1と#2の2社のスポンサーが約定する。落札・約定の管理は、取引情報処理部161が行う。

【0161】

この時、約定広告素材IDリスト75には、#1と#2の双方のスポンサーの、マッピング広告素材ID73-1がコピーされる。

【0162】

ステップ716において、約定が成立すると、広告素材配信部156が広告送出处理部11に、約定結果として広告枠ID62と約定広告素材IDリスト75と表示開始時間64-1と表示終了時間64-2と募集スポンサー数65-3を配信する。

【0163】

ステップ717において、これを受信した広告送出处理部11は、表示開始時間64-1から表示終了時間64-2の期間に、広告枠ID62に対応するメディアに向けて、送出用広告素材記憶部12から取得した募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75の広告素材を、受信部21に送

出する。

【0164】

この際、送出用広告素材記憶部12が市場用広告素材記憶部114の内容をミラーリングしているので、わざわざ市場用広告素材記憶部114から広告素材コンテンツ84を転送する必要がなくなり、送出处理のための大きな時間の遅延が発生しないので、市場で約定が成立した直後に広告素材を送出させることが可能になる。

【0165】

ステップ718において、受信部21は、広告送出处理部11から募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75に対応する広告素材を受信し、表示部22に送信し、表示部22は、受信部21から取得した募集スポンサー数65-3で指定された数の約定広告素材IDリスト75に対応する広告素材を表示する。

【0166】

なお、本実施の形態の広告枠取引システムは、市場管理部100における市場情報処理部120、ユーザ情報処理部130、広告枠処理部140、広告素材管理部150、取引情報管理部160等の機能や、広告送出管理部10における広告送出处理部11等の機能や、その他の機能をハードウェア的に実現することは勿論として、各機能を備えるコンピュータプログラムを、コンピュータ処理装置のメモリにロードされることで実現することができる。このコンピュータプログラムは、磁気ディスク、半導体メモリその他の記録媒体90、91に格納される。そして、その記録媒体からコンピュータ処理装置にロードされ、コンピュータ処理装置の動作を制御することにより、上述した各機能を実現する。

【0167】

以上好ましい実施の形態及び実施例をあげて本発明を説明したが、本発明は必ずしも上記実施の形態及び実施例に限定されるものではなく、その技術的思想の範囲内において様々に変形して実施することができる。

【0168】

【発明の効果】

以上説明したように本発明の広告枠取引システムによれば、以下のような効果が達成される。

【0169】

第1に、本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーが希望する広告素材を予め登録することにより、メディア側が約定前に広告素材の内容を確認することができ、その提示された広告素材を入札前に承認して双方が合意を取ることができるため、広告の配信時刻の直前まで各スポンサーが入札取引を行うことができる、また更に、落札の決定と同時にその落札したスポンサーの広告を配信することができる。

【0170】

第2に、本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーがその広告枠を購入又は入札する前に、メディア側において広告素材の認証を済ませることができるため、例えばスポンサーの募集から広告の配信までの間の広告の販売期間が短い広告枠においても、その入札取引を行うことが可能となる。従来では、販売期間が短い広告枠の取引の場合では、時間的余裕がなく落札後の広告素材の承認作業が間に合わないため、入札取引を行うことができなかった。

【0171】

第3に、本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーが登録する広告素材情報を、広告の配信元である放送局等の側の装置にミラーリングしておくことにより、約定後に広告素材を広告枠取引システムの側から放送局等へ送る処理が不要となり、約定後直ちに広告を配信することができる。これにより、広告の配信を開始する直前まで、広告枠を適正に取引することができる。

【0172】

第4に、本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーが配信を希望する複数の広告素材を同時に登録し、入札前に予め、メディア側がその複数の広告素材を一括して承認することができる。これにより、スポンサーは、その広告の配信前の時点であればいつでも、広告素材を他の承認済みの広告素材の中から選択して差し替えることができる。

【0173】

第5に、本発明の広告枠取引システムでは、スポンサーにより登録される各広告の広告ジャンルの情報をチェックする広告素材チェック部を備え、各広告の広告ジャンルがその希望する広告枠において採用できないかどうかをチェックすることができる。これにより、メディア側は、各スポンサーが登録した広告素材のジャンルが、その広告枠に指定した禁止ジャンルに該当しないことを容易に確認することができ、広告素材の承認の煩雑な手間を軽減することができる。このため、メディア側が大量の広告枠を登録した場合においても、広告素材の承認を速やかに行うことができる。

【0174】

第6に、本発明の広告枠取引システムでは、各スポンサーが属する業種カテゴリをチェックする競合チェック部を備え、競合する複数のスポンサーが同時に同じ広告枠について購入又は入札することを防止し、各スポンサーに競合関係がある場合にはその中の1つのスポンサーのみが購入又落札を行うように制御することができる。このため、同じ番組に、競合する複数の企業の広告が配信されてしまことを自動的に防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の第1の実施の形態による広告枠取引システムの構成を示すブロック図である。

【図2】 本発明の第1の実施の形態による広告枠取引システムの各部の詳細な構成を示すブロック図である。

【図3】 本発明の第1の実施の形態のユーザ情報のデータ構造の一例を示す図である。

【図4】 本発明の第1の実施の形態の広告枠情報のデータ構造の一例を示す図である。

【図5】 本発明の第1の実施の形態の取引状況情報のデータ構造の一例を示す図である。

【図6】 本発明の第1の実施の形態の広告素材情報のデータ構造の一例を示す図である。

【図7】 本発明の第1の実施の形態による広告枠取引システムの処理を説

明するためのフローチャートである。

【図 8】 本発明の第 1 の実施の形態の一実施例のユーザ情報を示す図である。

【図 9】 本発明の第 1 の実施の形態の一実施例の広告枠情報を示す図である。

【図 1 0】 本発明の第 1 の実施の形態の一実施例の取引状況情報を示す図である。

【図 1 1】 本発明の第 1 の実施の形態の一実施例の広告素材情報を示す図である。

【図 1 2】 本発明の第 1 の実施の形態の 2 番目の実施例のユーザ情報を示す図である。

【図 1 3】 本発明の第 1 の実施の形態の 2 番目の実施例の広告枠情報を示す図である。

【図 1 4】 本発明の第 1 の実施の形態の 2 番目の実施例の取引状況情報を示す図である。

【図 1 5】 本発明の第 1 の実施の形態の 2 番目の実施例の広告素材情報を示す図である。

【図 1 6】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 1 7】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 1 8】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 1 9】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 2 0】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 2 1】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 2 2】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 2 3】 本発明の一実施例の広告枠取引市場のウェブサイトの表示画面の一例を示す図である。

【図 2 4】 従来の広告枠取引システムの処理を説明するためのフローチャートである。

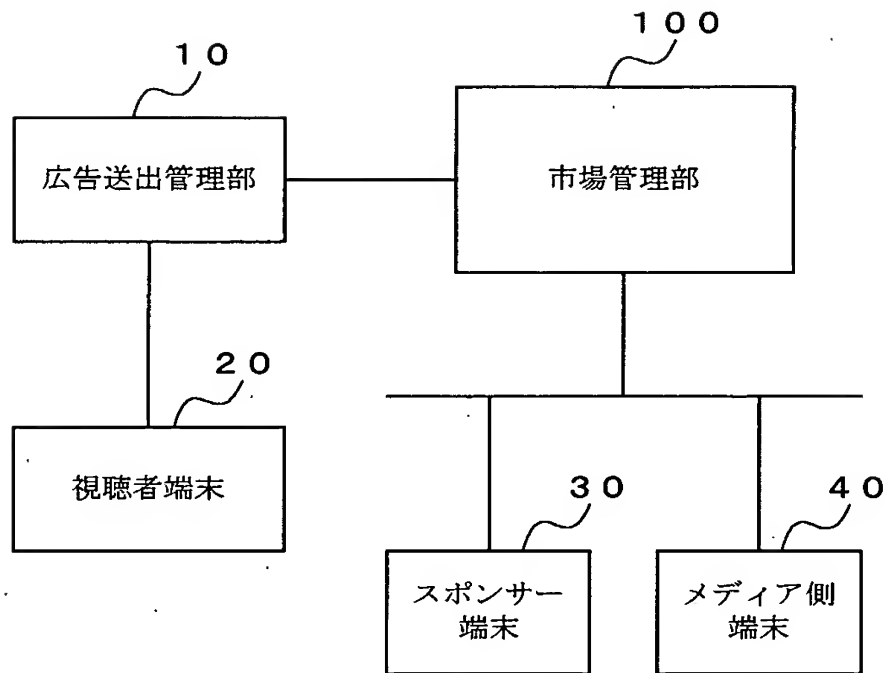
【符号の説明】

- 1 0 0 市場管理部
- 1 1 0 市場情報記憶部
- 1 1 1 ユーザ情報記憶部
- 1 1 2 広告枠記憶部
- 1 1 3 取引情報記憶部
- 1 1 4 市場用広告素材記憶部
- 1 2 0 市場情報処理部
- 1 3 0 ユーザ情報処理部
- 1 4 0 広告枠処理部
- 1 5 0 広告素材管理部
- 1 5 1 広告素材登録部
- 1 5 2 広告素材マッピング部
- 1 5 3 広告素材変更部
- 1 5 4 広告素材承認部
- 1 5 5 広告素材チェック部
- 1 5 6 広告素材配信部
- 1 5 7 広告素材ミラーリング部
- 1 6 0 取引情報管理部
- 1 6 1 取引情報処理部
- 1 6 2 競合チェック部
- 1 6 3 リアルタイム情報処理部
- 1 0 広告送出管理部

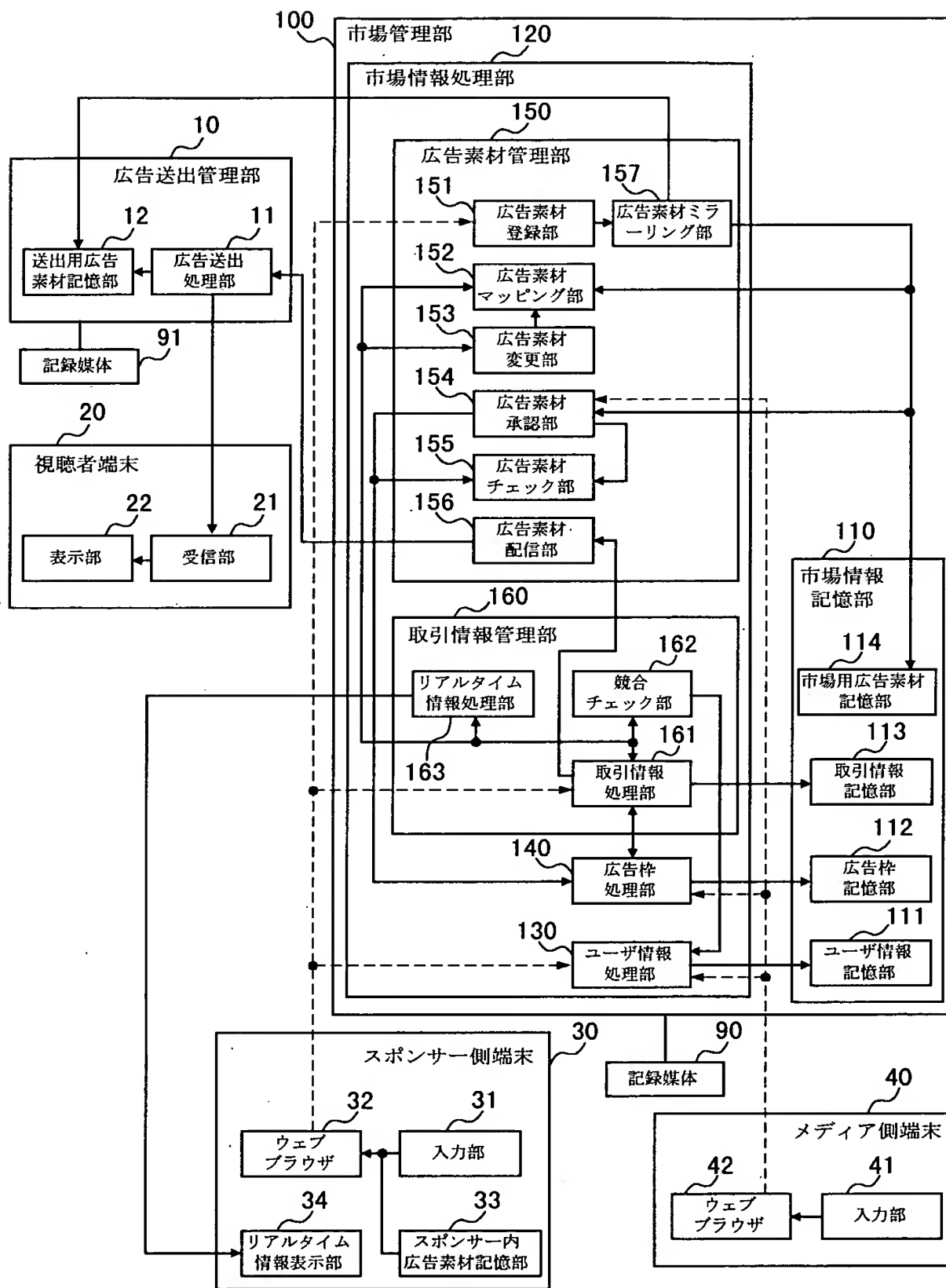
- 1 1 広告送出処理部
- 1 2 送出用広告素材記憶部
- 2 0 視聴者端末
- 2 1 受信部
- 2 2 表示部
- 3 0 スポンサー端末
- 3 1 入力部
- 3 2 スポンサー側ウェブブラウザ
- 3 3 スポンサー内広告素材記憶部
- 3 4 リアルタイム情報表示部
- 4 0 メディア側端末
- 4 1 入力部
- 4 2 メディア側ウェブブラウザ
- 5 0 ユーザ情報
- 5 0 a スポンサー側ユーザ情報
- 5 0 b メディア側ユーザ情報
- 6 0 広告枠情報
- 7 0 取引状況情報
- 8 0 広告素材情報
- 9 0、9 1 記録媒体

【書類名】 図面

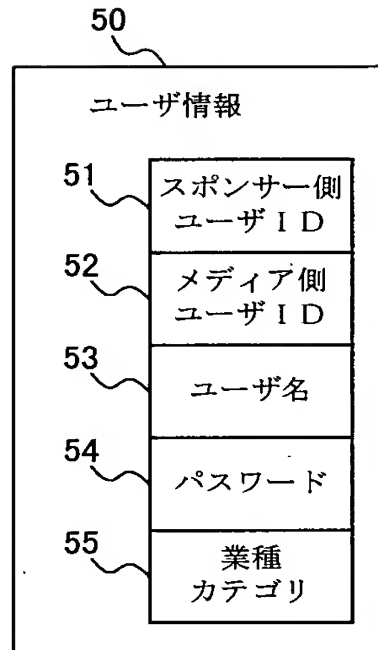
【図 1】



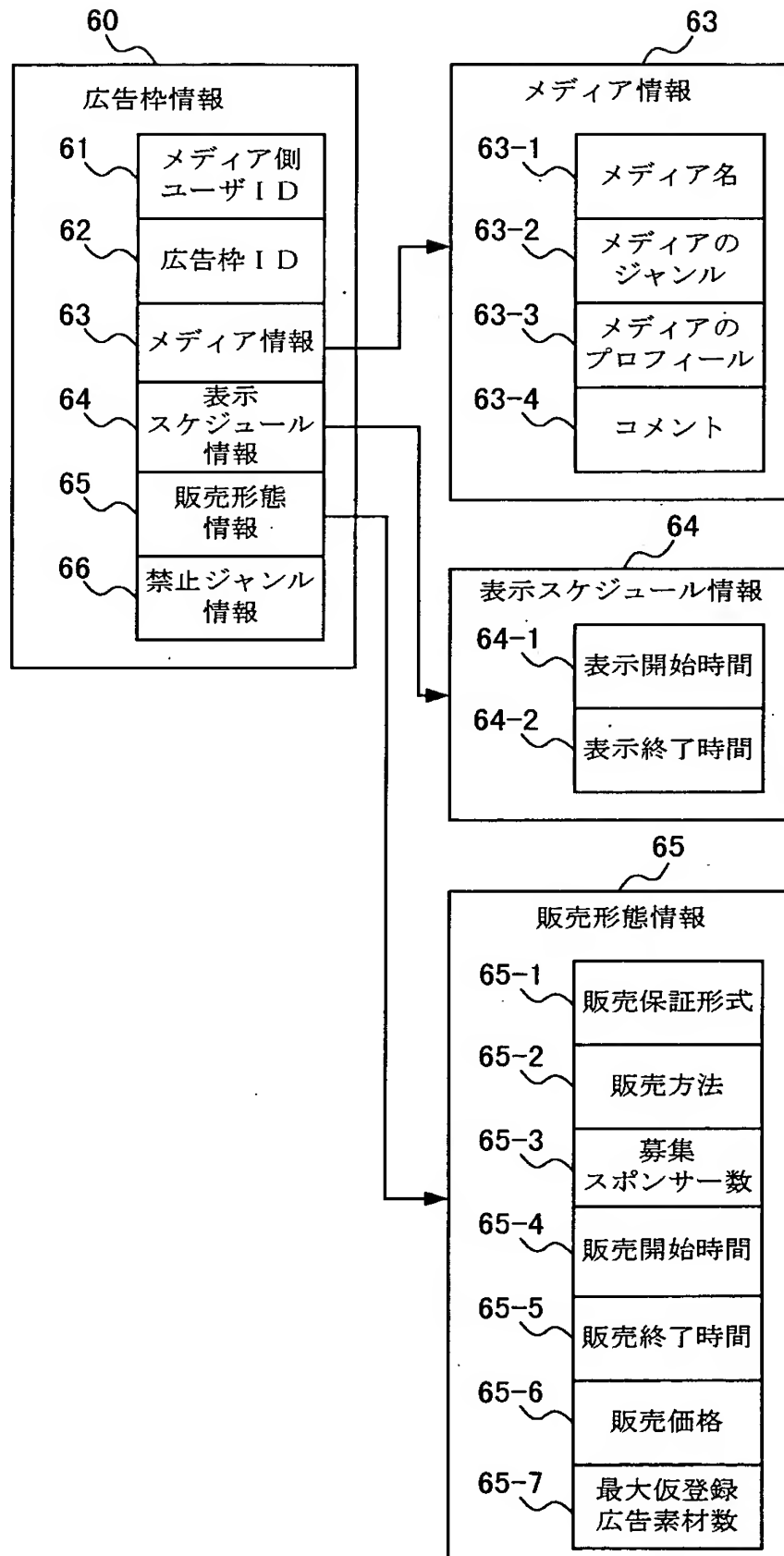
【図 2】



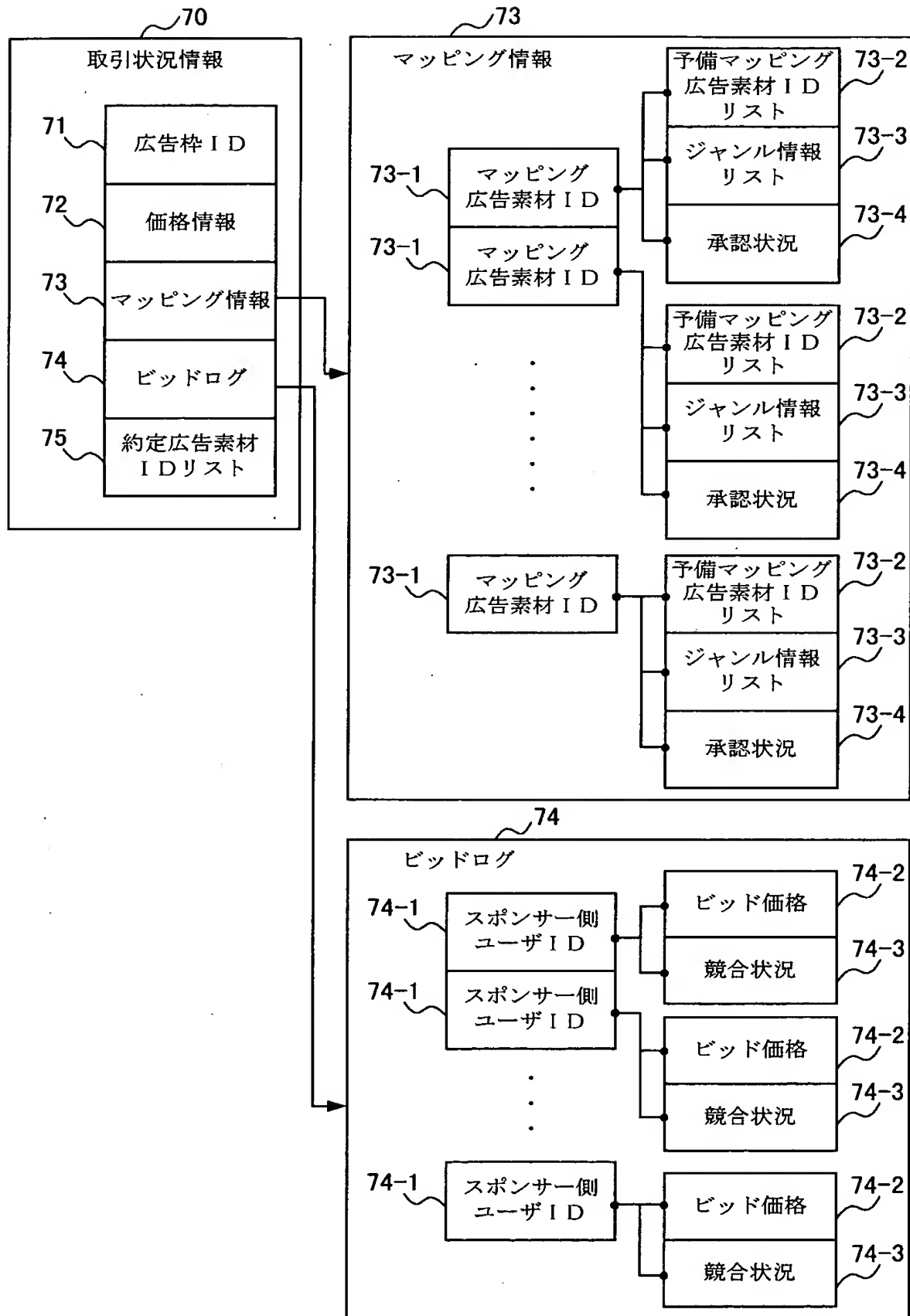
【図 3】



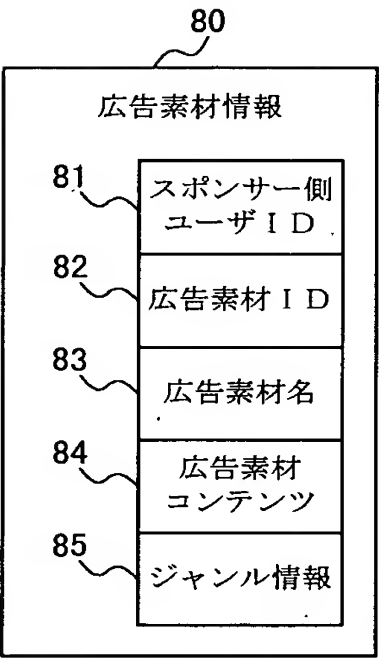
【図4】



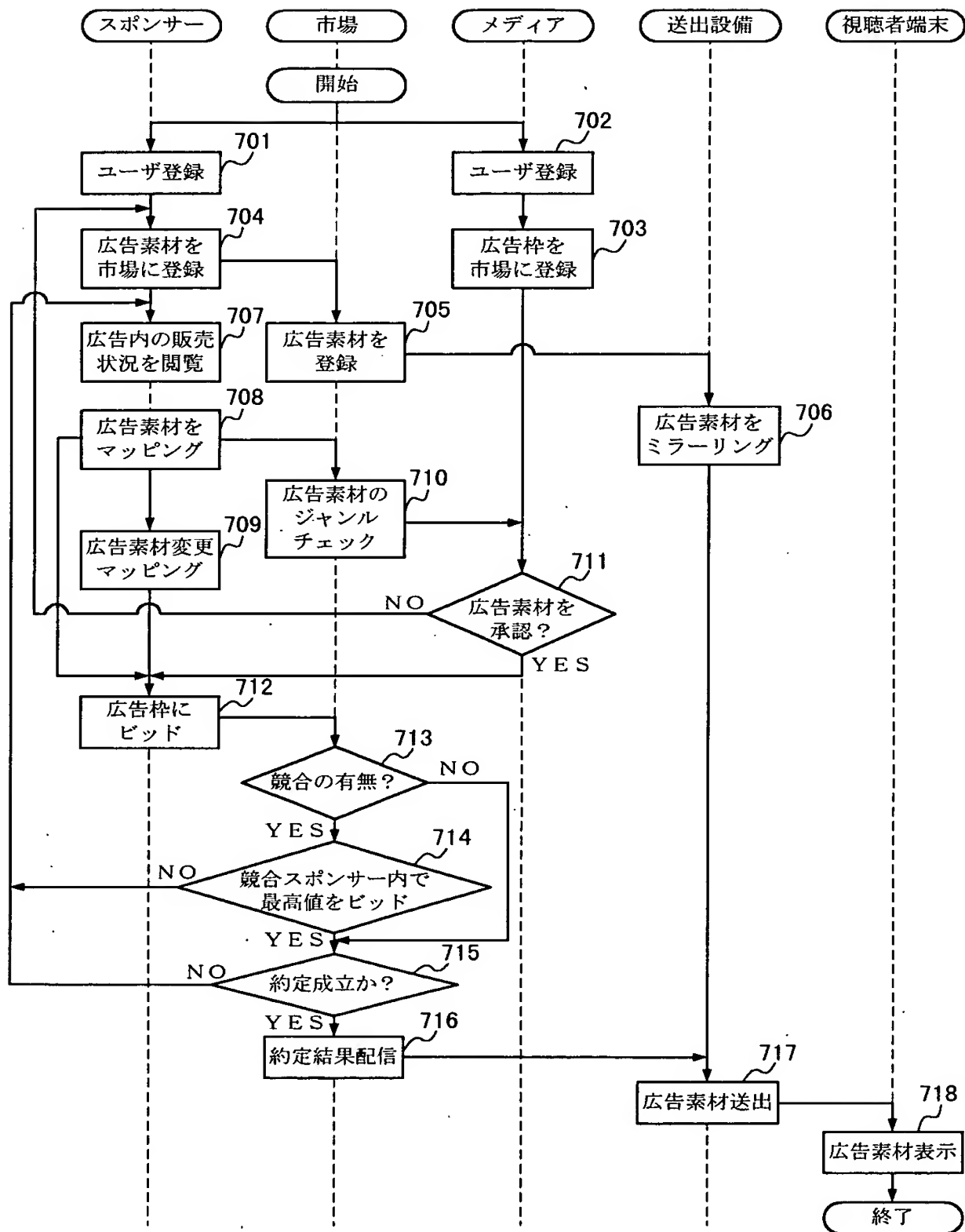
【図 5】



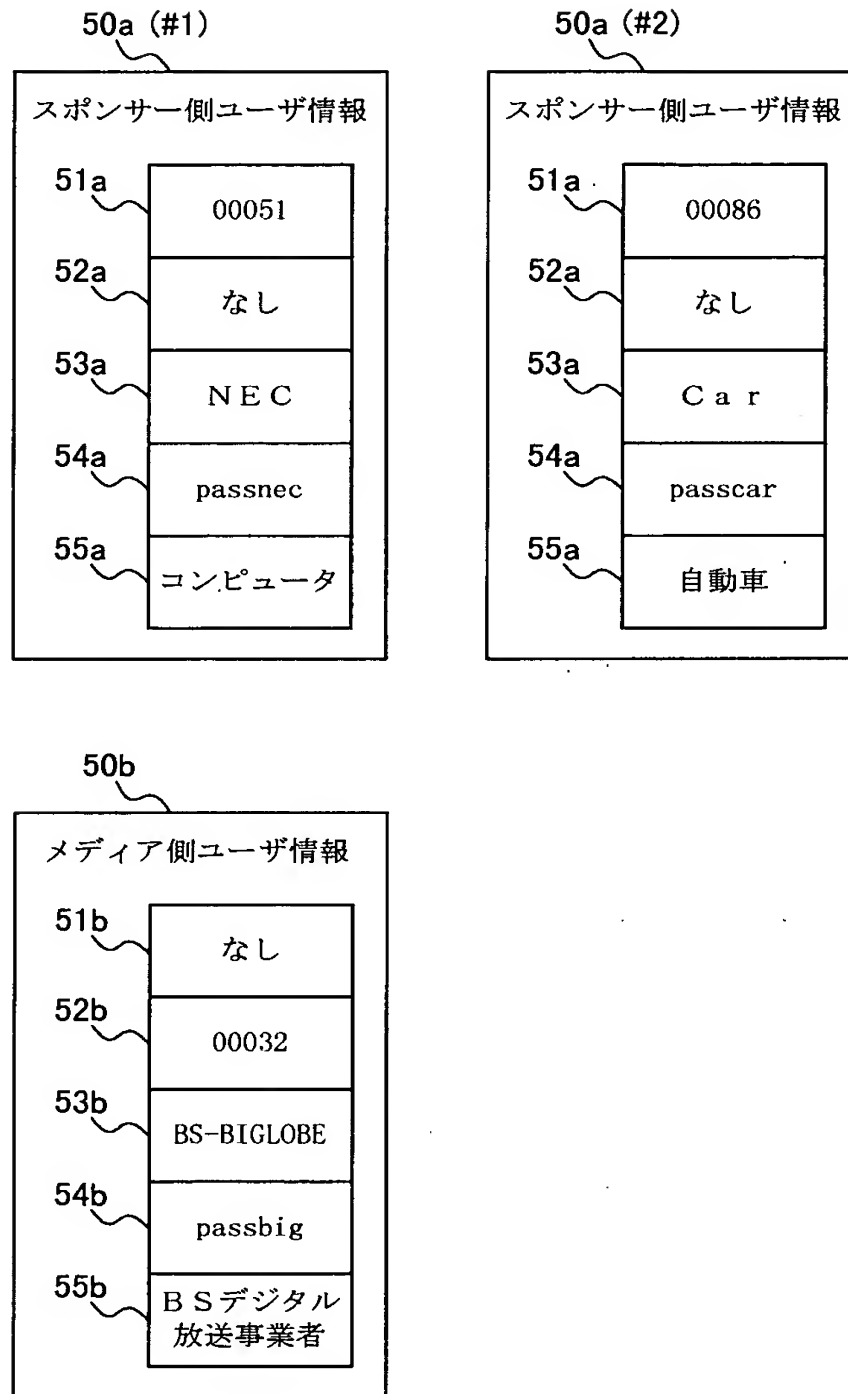
【図 6】



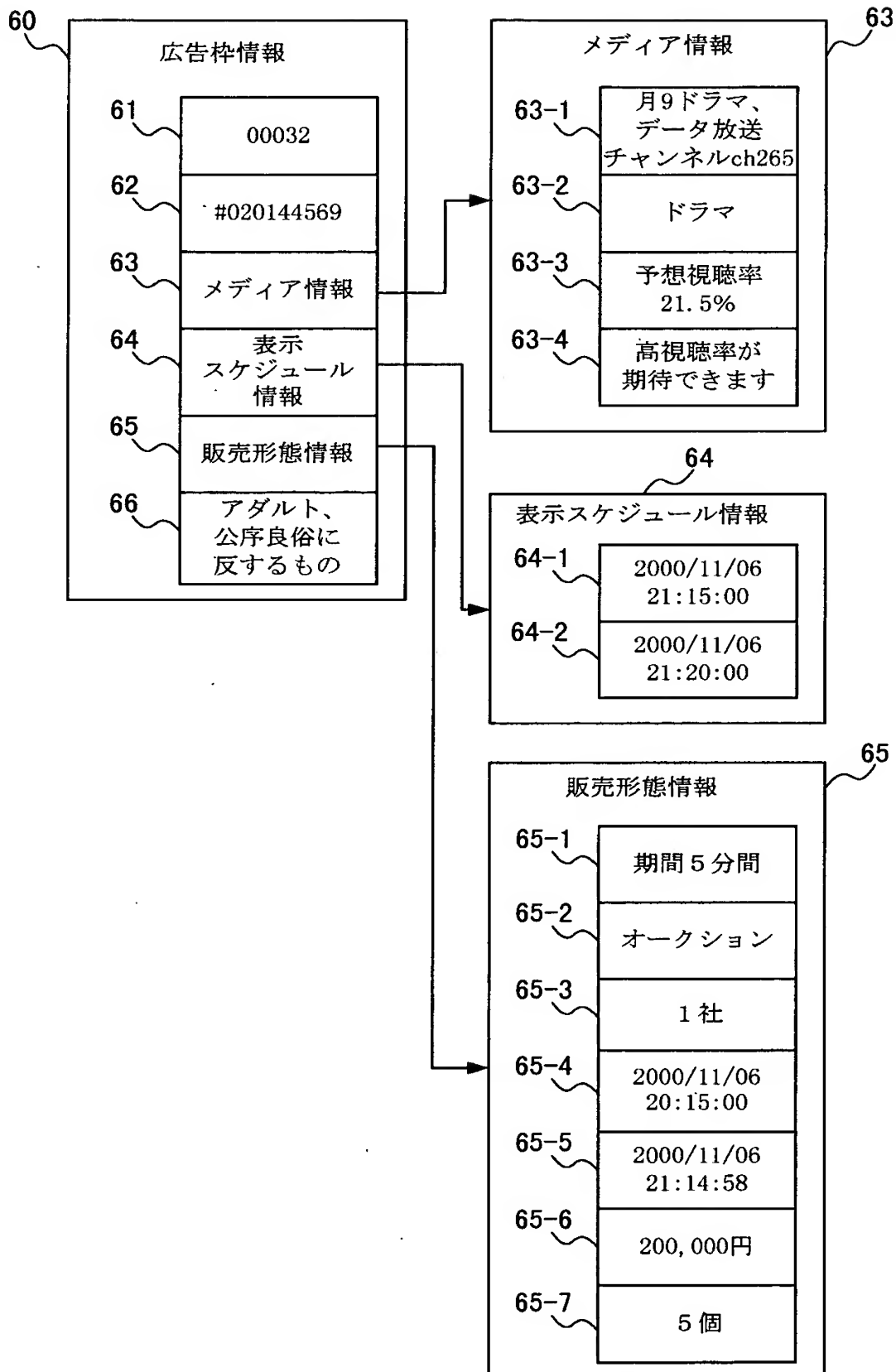
【図 7】



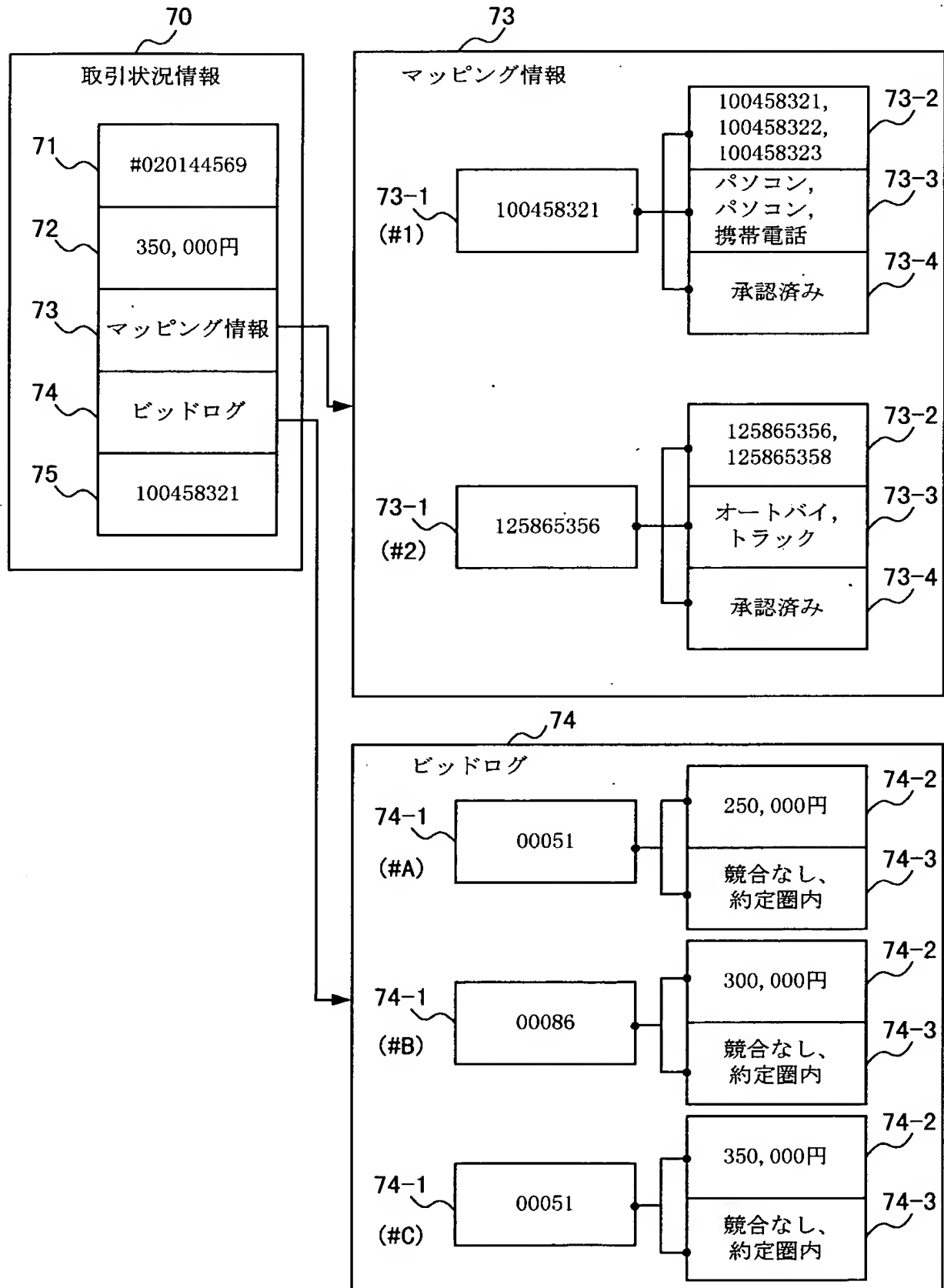
【図 8】



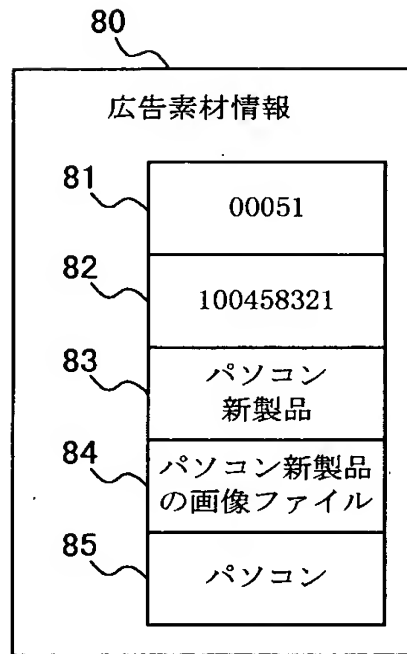
【図9】



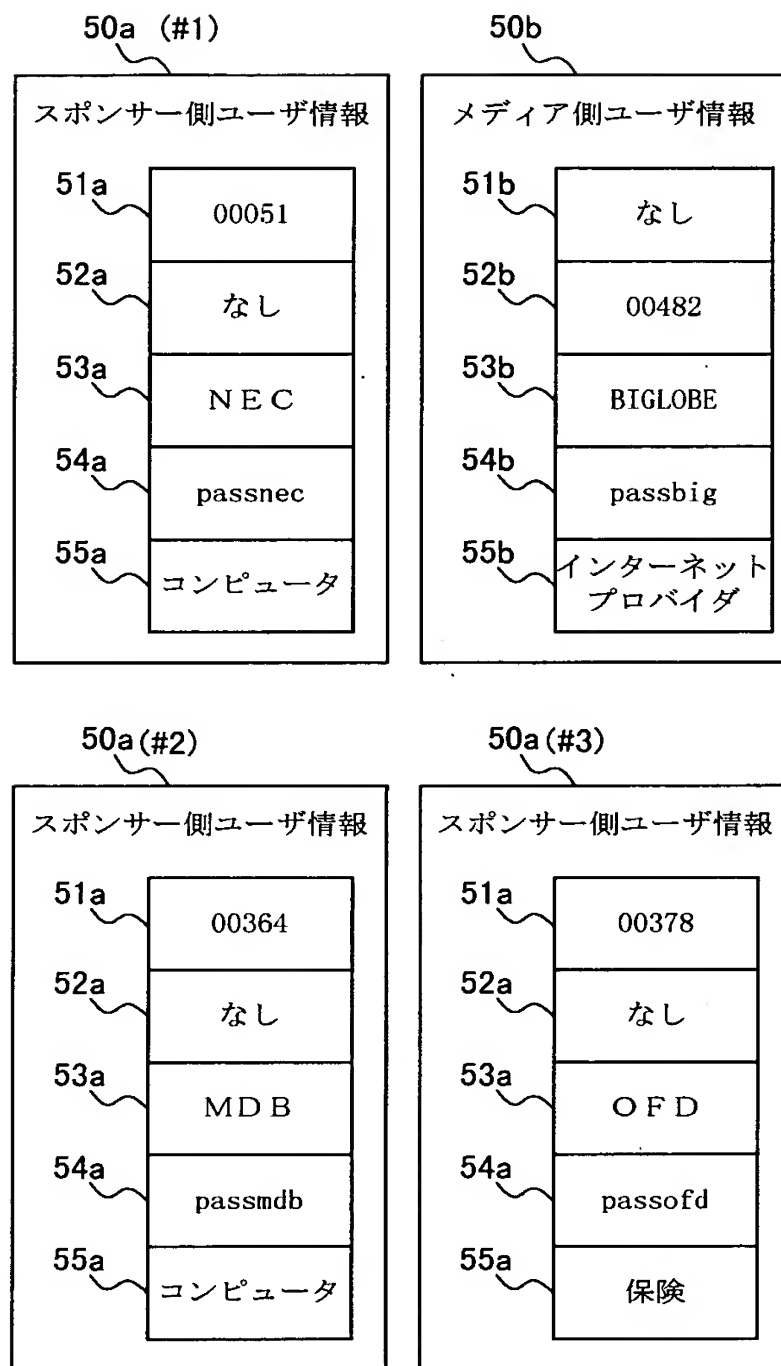
【図 1 0】



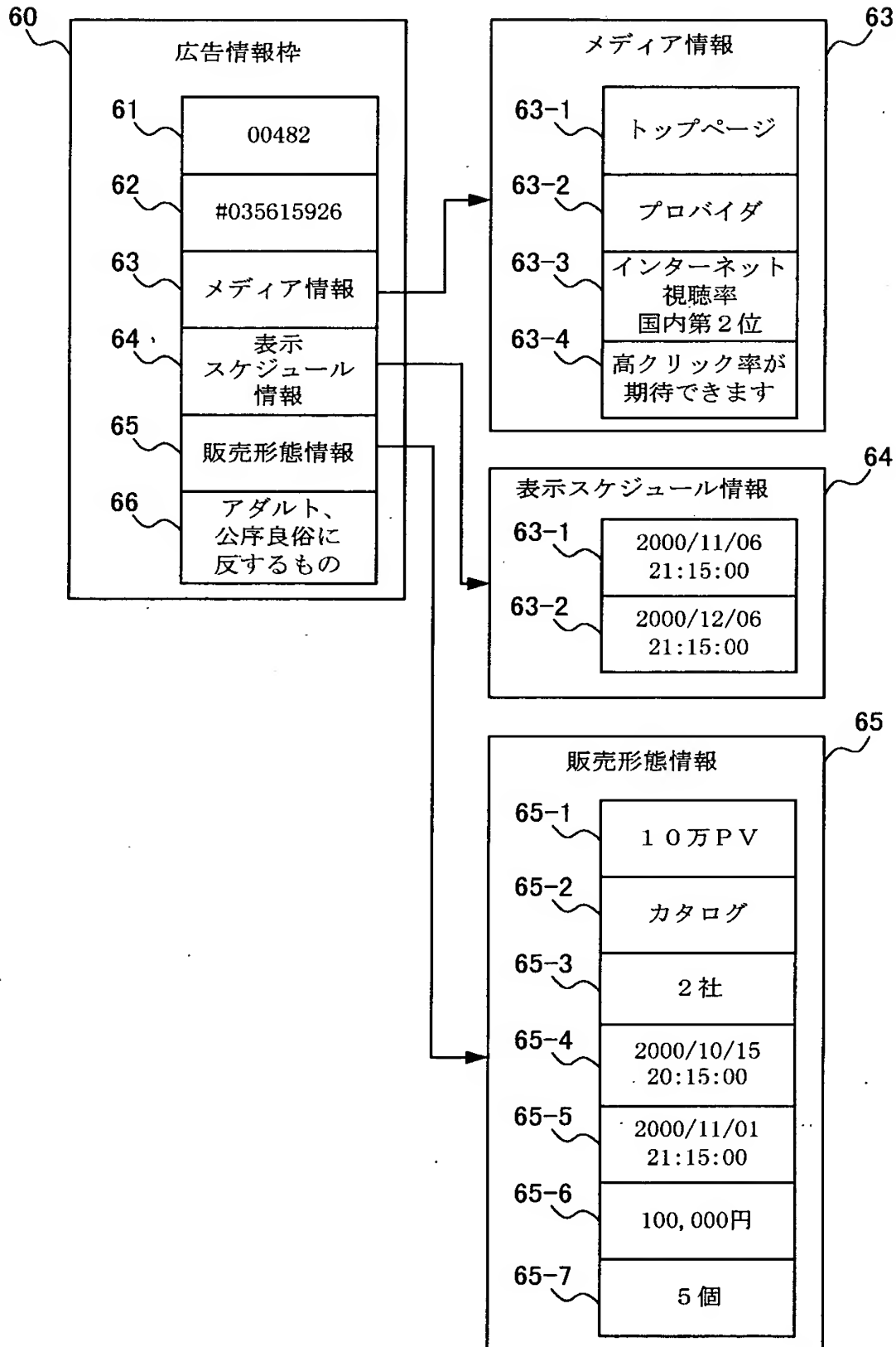
【図 1 1】



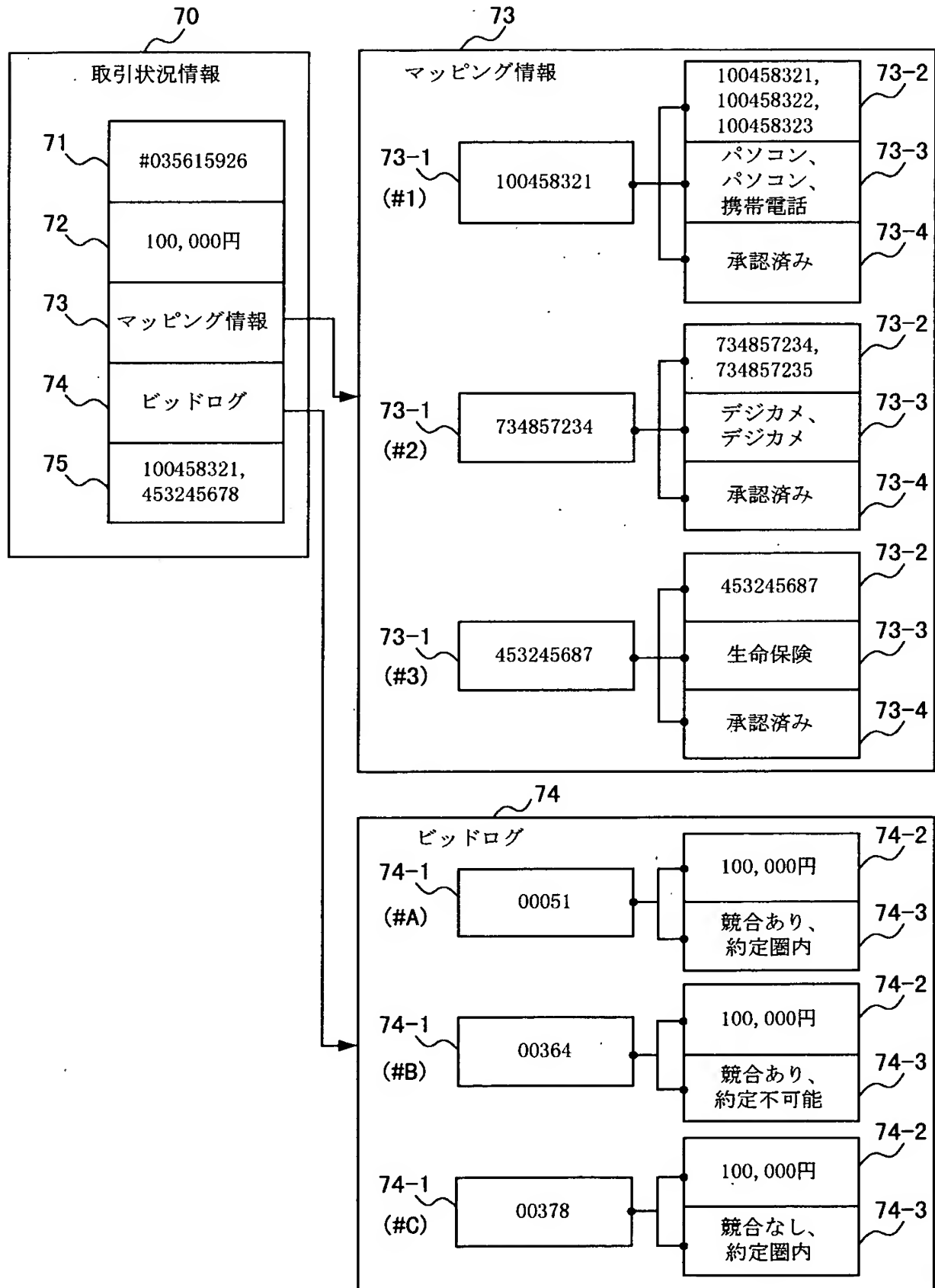
【図 1 2】



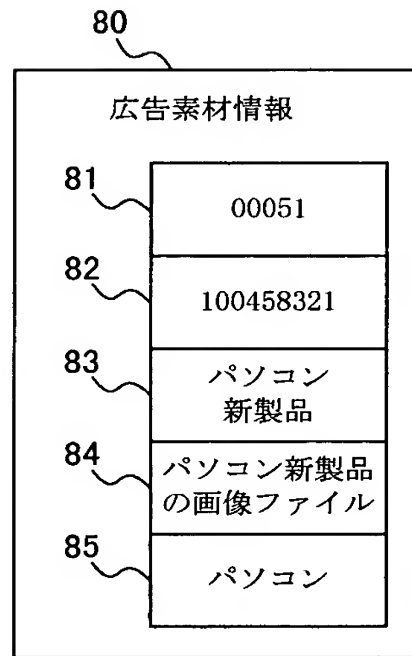
【図 13】



【図 14】



【図 1 5】



【図 16】

ファイル(E) 編集(E) 表示(A) ツール(T) ヘルプ(H)	
<div> <div> <div>▽</div> <div>△</div> <div>⊗</div> <div>□</div> <div>台</div> </div> </div>	
<div> <div> <div>データ放送広告取引市場</div> <div> <div>↑ 総合TOP</div> </div> </div> <div> <div>RINA Exchange</div> <div>リアルタイム情報共有可能な電子市場基板</div> </div> </div>	
<div> <div>総合TOPページ</div> <div>ヘルプ サイトマップ</div> </div>	
<div>お知らせ</div> <div> ユーザ登録 資料請求 お問合せ先 </div>	<div> <div>簡単な説明の文章</div> <div>データ放送広告取引市場のご案内</div> <div>簡単な説明の文章</div> <div>ログイン</div> </div> <div> <div>広告主側(買い手)</div> <div> 正規ユーザ Login 試用ゲスト Login </div> </div> <div> <div>メディア側(売り手)</div> <div> 正規ユーザ Login 試用ゲスト Login </div> </div>

【图 17】

ファイル(E)編集(E)表示(A)ツール(T)ヘルプ(H)					
◀▶⊗□台					
データ放送広告枠取引市場					
RINA Exchange リアルタイム情報共有可能な電子市場基盤					
総合TOP登録情報変更 ヘルプ サイトマップ					
広告主側：ユーザ登録					
当マーケットプレースにお申し込みいただき、誠にありがとうございます。 ID発行にあたり、以下の項目を注意事項に従って記入し、登録ボタンを押して下さい。					
(注意事項)					
・ ※印は必須項目です。必ず記入して下さい。					
・ 入力した情報は暗号処理された後、通信されます。					
・ パスワードは大切に保管して下さい。					
広告主として登録					
1) ご希望のログインID・パスワードの入力					
ログインID※		NEC		(半角英数字4文字以上10字以内：例 abcd123)	
パスワード※		*****		(半角英数字4文字以上20字以内：例 i9Uyp02a)	
パスワード(確認)※		*****		(例 i9Uyp02a)	
1) 登録者の情報の入力					
法人名※		(株)日本電気		(例 日電商事株式会社)	
法人名よみがな※		にほんでんき		(例 にちでんしょうじ)	
郵便番号※		*****-****		(例 123-0001)	
住所※		××市○○区*****			
貴社のホームページURL		http://www.nec.co.jp		(例 http://www.nitiden-shoji.com/)	

【図 18】

ファイル(F) 編集(E) 表示(A) ツール(T) ヘルプ(H)

▽▷△×□台

データ放送広告枠取引市場

RINA Exchange
リアルタイム情報共有可能な電子市場基板

Logout

「××電機(株)」様 Login中

販売物件一覧

マイトレード

販売物件新規作成

販売物件新規作成

新規情報変更 | ヘルプ | サイトマップ

販売物件を新規に作成するには、「番組情報」「番組レイアウト」「取引情報」をすべて記入・選択し、プレビューで確認後に、登録します。

作業の流れ

番組情報 → 番組レイアウト → 取引情報 → プレビューで確認

番組に関する情報を入力

販売する広告枠が表示されるテレビ番組に関する詳細な情報を入力して下さい。

放送局名	BS-BIGLOBE
チャンネル	BS265
番組タイトル	月9ドラマ
番組サブタイトル	コメディドラマ
ジャンル(大分類)	ドラマ
ジャンル(中分類)	恋愛コメディ
ジャンル(小分類)	
番組開始時間	2000年 11月 06日 21時 00分 00秒
番組終了時間	2000年 11月 06日 21時 20分 00秒
予測視聴率	21.5%
1回の広告時間(秒)	120

【図 19】

ファイル(E) 編集(E) 表示(A) ツール(T) ヘルプ(H)

△◇⊗□台

データ放送広告枠取引市場

総合TOP 広告主TOP

販売物件一覧

マイトレード

バナー管理

バナーの一覧

バナーのアップロード

バナーの削除

新規情報変更 | ヘルプ | サイトマップ

「株式会社 アイウエオ電気」様 Login中

Logout

バナーのアップロード

ここでは広告に使用するバナーをアップロード出来ます。

バナーのアップロード

アップロード

キャンセル

バナー名: パソコン新製品

該当ファイルへのパス: C:\Documents\Banner\200011\newPC200011.gif

参照

コメント: NEC家庭用パーソナルコンピュータ新製品
広告戦略: 認知度向上のための他のメディアにも出稿予定

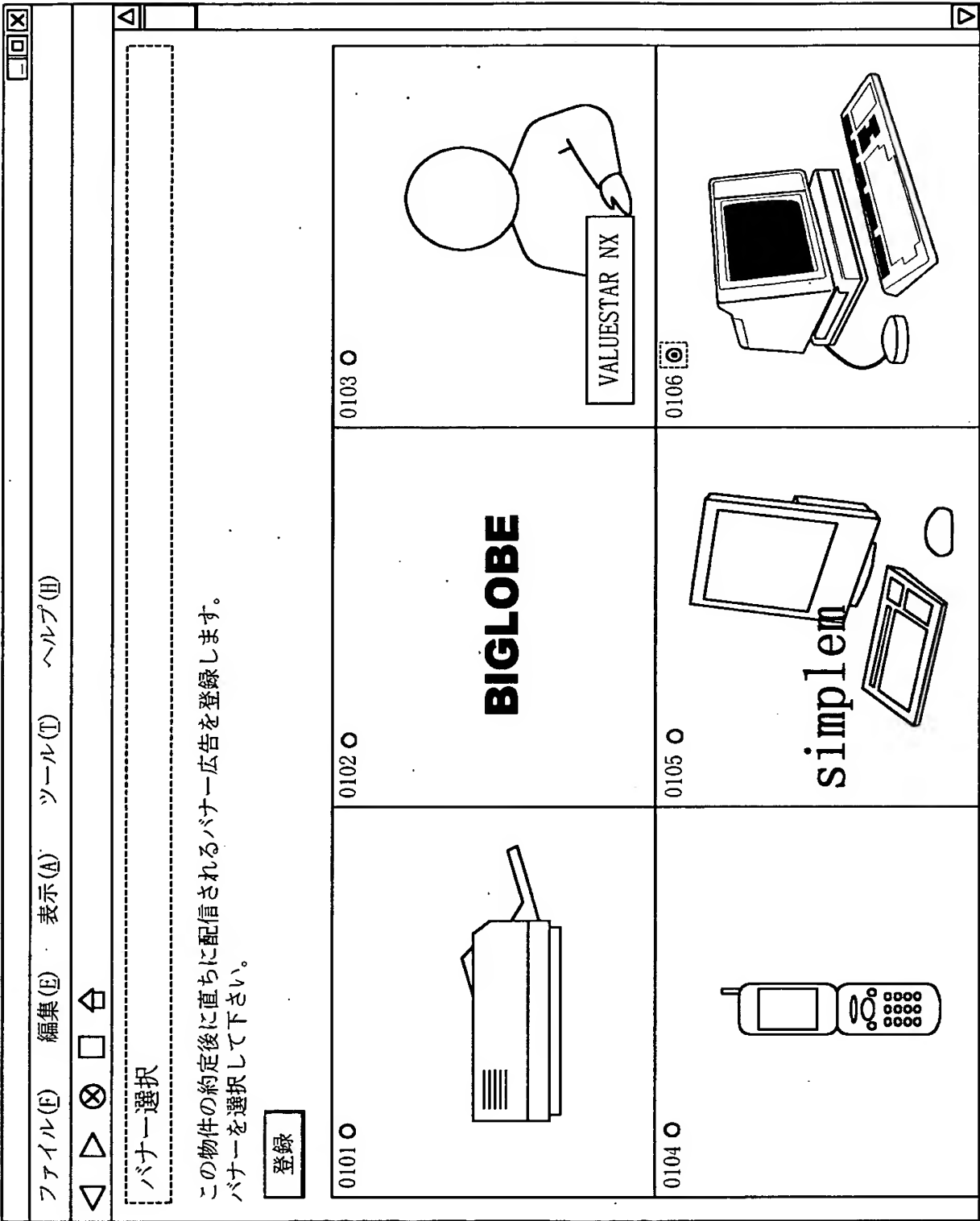
広告表示予定期間: 2000年 11月 1日 から 2000年 12月 31日 まで

予算の目安: 12500000 円

【図 20】

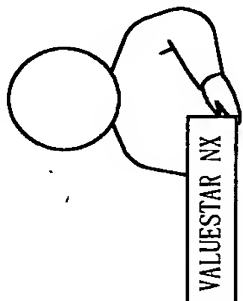
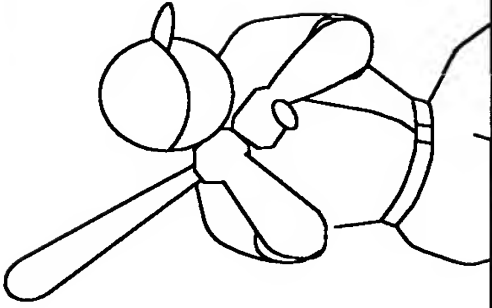
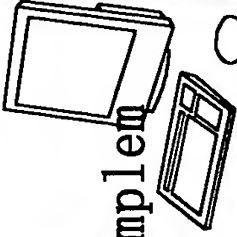
ファイル(E) 編集(E) 表示(A) ツール(T) ヘルプ(H)	
▽ ▷ ◁ ⊗ □ 台	
分類 分類 物件名 掲載者	ドラマ 恋愛コメディ 月9ドラマ ××電機(株)
取引情報 総放送回数 募集スポンサー数 取引形態 開始時間 締切り 開始価格(円) 最大価格(円) 最低価格(円)	10000 1 オークション 2000/11/06 20:15:00 2000/11/06 21:14:59 200000 1000000 100
現在の取引情報 未入札です 現在の時間	2000/11/13 11:49:05
番組情報 種類 放送局 番組タイトル 番組サブタイトル 1回の広告時間(秒) 予定視聴率(%) 大きさ 内容制約 開始予定時間 終了予定時間 課金単位 テンプレート	データ放送バナー広告枠 BS-BIGLOBE 月9ドラマ コメディドラマ 120 21.5% 300 * 200 アダルト、公序良俗に反するもの 2000/11/06 21:15:00 2000/11/06 21:20:00 放送回数 0000
データ放送レイアウト	
<div>1</div> <div>2</div> <div>お客様が選択しているバナー</div> <div>バナー選択</div>	

【図 21】



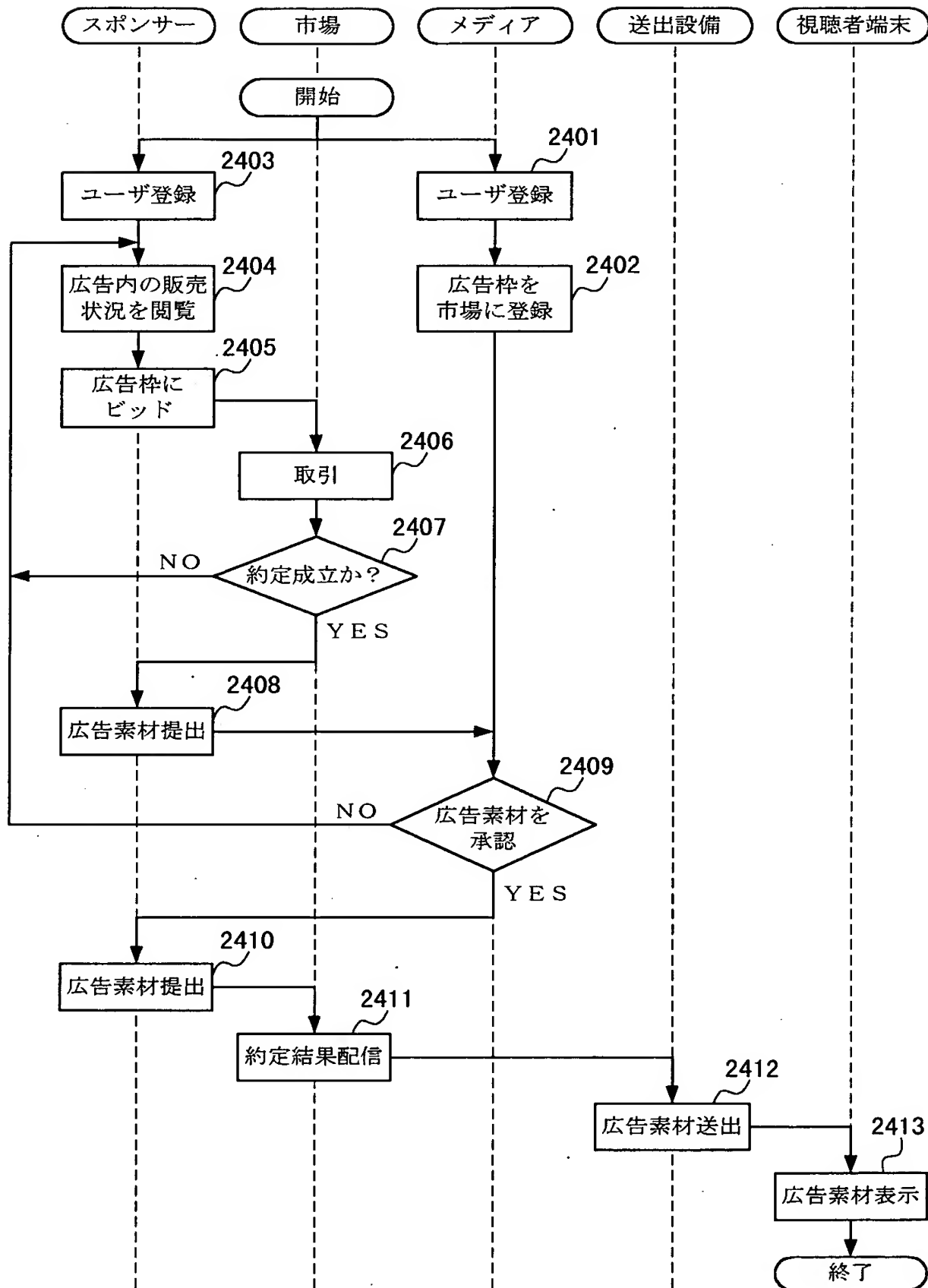
出証特 2 0 0 1 - 3 0 7 7 8 4 2

【図 23】

		
<p>プロ野球 日本シリーズ 生中継 A軍×B軍</p>	<p>今日の天気 東京</p>	<p>昼 12~18 24°C 18°C</p> <p>夕方 18~24 17°C 13°C</p>

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
A	0	0	2	0	1	0	0	0	0	3
B	0	0	0	1	0	1	1	0	0	3

【図 24】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 広告の配信時刻の直前まで各スポンサーが入札取引を行うことができ、また更に、落札の決定と同時にその落札したスポンサーの広告を配信することができる広告枠取引システムを提供する。

【解決手段】 通信ネットワークを介して、広告の各スポンサーの端末及び広告を配信する各メディアの端末のそれぞれと通信し、各メディアが各スポンサーに提供する広告枠の取引を仲介する広告枠取引システムにおいて、スポンサーが広告枠において配信を希望する広告のデータである登録された広告素材に対して、メディアが配信するか否かを承認する広告素材承認部を備え、広告素材承認部は、広告枠の取引前の時点において予め、メディアが登録された広告素材の承認を行なうことを特徴とする。

【選択図】 図2

特2000-396571

認定・付加情報

特許出願の番号	特願2000-396571
受付番号	50001686229
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0096
作成日	平成12年12月28日

<認定情報・付加情報>

【提出日】	平成12年12月27日
-------	-------------

次頁無

出願人履歴情報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区芝五丁目7番1号
氏 名 日本電気株式会社